



6.5型ワイドインダッシュTV/DVDビデオ/CD内蔵DVDナビゲーションセット

AVIC-DRV150

6.5型ワイドTV付DVDビデオ/CD内蔵DVDナビゲーションセット

AVIC-DRV120

6.5型ワイドTV付DVDナビゲーションセット

AVIC-DR100



最初にお読みください

ナビゲーション入門とAV操作編

ナビスタート
&
AVブック

スタートからゴールまでの
流れを理解しよう

基本操作編

DVD[楽ナビ]の基本を覚えよう

ナビスタート編

DVD[楽ナビ]を使おう

行き先を探そう

渋滞情報を確認しよう

近くの施設を探そう

自宅へ帰ろう

AV編

テレビ/VTRを見る

CD/MP3ディスクを聴く

DVDビデオを見る



安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください)

警告

[使用方法]



禁止

運転中に操作をしない

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。



禁止

走行中にテレビやビデオを見ない

運転者がテレビやビデオを見る時は、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。



分解禁止

分解や改造はしない

本機を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。

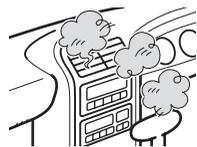
[異常時の処置]



禁止

故障のまま使用しない

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。



禁止

異常のまま使用しない

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。



必ず行う

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

DVD[楽ナビ]の4つのボタン

お出かけ

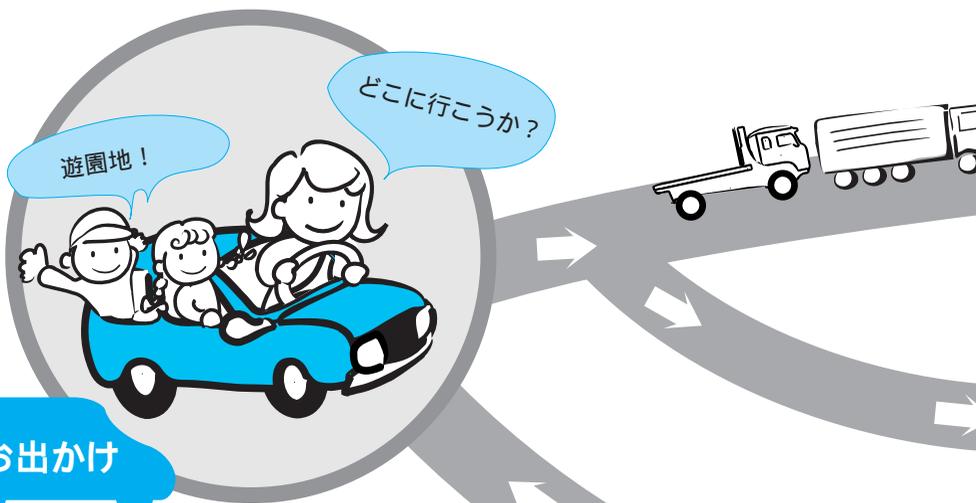
周辺

渋滞

お帰り

を使って

スタートからゴールまでの流れを理解しよう



お出かけ

どこに行こう?

「お出かけ」ボタンで
行きたい所をいろいろな方法で検索

簡単ルート探索 P43



マイクに向かって
声で操作することも
できます。

音声操作 P57



お帰り

さあ帰ろう!

「お帰り」ボタンで
全国どこからでも検索

一発ルート探索 P56

画面上のタッチキー
からも操作できます。

ショートカットタッチキー
P23



道路が
混んでる!!

目的地に
着いたー!!

渋滞 渋滞情報は？

「渋滞」ボタンで
ルート上の道路状況を
素早くキャッチ

渋滞情報 P48

遊んだら
お腹空いた～

ヘナ
ヘナ

周辺 この近くに お店はあるの？

「周辺」ボタンで
ルート上周辺のお店や
施設の情報をいろいろ表示

周辺検索 P50
お好み周辺検索 P53

ファミリ
レストラン

目次

安全のために必ずお守りください	2	操作のしかた	23
安全上のご注意	3	タッチキーでの操作のしかた	23
スタートからゴールまでの流れを理解しよう	4	ショートカットタッチキーに	
はじめに	10	タッチして操作する	23
特長	10	タッチキーの再表示のしかた	
ご使用前に知っておいて		(AVソース時)	23
いただきたいこと	12	リモコンでの操作のしかた	24
お使いになる前の準備	14	ジョイスティックとして使う	24
リモコンに電池をセットする	14	「決定」ボタンとして使う	24
電源の入れかた、切りかた	15	操作の表記	24
オートアンテナの操作について	15	TVモニターを操作する	
オートアンテナを上げる・下げる	15	(AVIC-DRV150)	25
ディスクのセットのしかた	16	TVモニターを立ち上げる/ 角度を調節する/収納する	25
ディスクの取り出しかた	17	TVモニターを一時的に手前に倒す	26
各部の名前とおもな働きを知る	18	メモリーナビモードとは	
AVIC-DRV150	18	(AVIC-DRV150/AVIC-DRV120)	28
AVIC-DRV120/AVIC-DR100	20	メモリーナビモードでの	
リモコン	22	ナビゲーションについて	28
		メモリーナビモード(ルート周辺エリ ア)準備中/準備完了画面	29
		メモリーナビモード中の地図画面	29
		地図の見かたや操作を覚えよう	30
		現在地を表示させる	30
		現在地画面	30
		地図の動かしかた	31
		スクロール画面	32
		地図を広域・詳細する	33
		地図の表示方法を変えてみよう	34

メニュー操作の基本を覚えよう	35	「お帰り」ボタンで自宅へ帰ろう	56
メニューを表示する	35	音声操作を覚えよう	57
お出かけメニューを表示させる	35	音声操作の基本	57
ショートカットメニューを		音声操作上の注意点	57
表示させる（現在地画面）	36	発話するタイミング	58
ショートカットメニューを		音声でナビゲーションを操作してみよう	58
表示させる（スクロール画面）	36		
リスト表示の画面操作	37		
		AVソースをONにする/OFFにする	62
自宅を登録しておこう	38	安全走行のために	62
自宅にいるときに登録するには	38	AVソースをONにする	62
自宅以外の場所にいるときに		一時的にナビゲーション画面にする	62
登録するには	39	AVソースの音声出力について	63
		AVソースを切り替える	63
DVD [楽ナビ] を使おう	42	AVソースをOFFにする	
		（ナビゲーションに戻る）	63
「お出かけ」ボタンで行き先を探そう	43		
ルート案内中の画面	47	テレビ/VTRを見る	64
		基本的なテレビの見かた	64
「渋滞」ボタンで渋滞情報を確認しよう	48	AVソースをテレビに切り替える	64
ルート案内中に渋滞情報を確認しよう	48	テレビをOFFにする	
		（ナビゲーションに戻る）	64
「周辺」ボタンで近くの施設を探そう	50	チャンネルリストで放送局を選ぶ	64
		映像を表示させたままで	
お好み周辺検索タッチキーを使おう	53	放送局を選ぶ	65
 お好み周辺検索タッチキーで		放送局を記憶する	66
周辺を検索して、ルート探索しよう	54	音声多重放送の音声を切り替える	67
		VTRを見る	68

CD/MP3ディスクを聴く

(AVIC-DRV150/AVIC-DRV120) 69

基本的なCD/MP3ディスクの聴きかた	69
曲を選ぶ	70
再生を停止する	70
CD/MP3の再生をやめる	70
フォルダ内の曲を再生する (MP3ファイルのみ)	70
CDとMP3を切り替える	70
便利な機能	71
同じ曲を繰り返し聴く	71
いつもと違う曲順で聴く	71
聴きたい曲を探す	72
再生を一時停止する	72
再生中の曲の詳細情報を見る (MP3ファイルのみ)	72

DVDビデオを見る

(AVIC-DRV150/AVIC-DRV120) 73

基本的なDVDビデオの見かた	73
DVDビデオの再生をやめる (ナビゲーションに戻る)	73
映像を表示させたままで操作する	73
操作タッチキーの表示と消しかた	74
操作タッチキーを表示させる	74
ディスクメニュー画面の操作	75
タイトルを進める/戻す	75
チャプターを進める/戻す	75

早送り/早戻しする	76
再生を停止する	76
見たい場面をダイレクトに選ぶ	76
便利な機能	77
静止画を見る	77
スローで見る	78
コマ送り再生で見る	78
繰り返し再生で見る	79
音声言語を切り替える	79
字幕言語を切り替える	80
アングルを切り替える	80
ディスクに指定された位置まで 戻って見る	81
ディスクメニュー操作タッチキーを 表示する	81
機能設定をする	82
DVDビデオ機能設定メニューを 表示する	82
基本字幕言語を設定する	83
基本音声言語を設定する	83
メニュー言語を設定する	84
アシスト字幕を設定する	85
アングル選択マークの表示を 設定する	85
テレビアスペクト(画面の縦横比) を設定する	86
視聴制限を設定する	87

AV機能設定を行なう	89	エラーメッセージ	113
設定のしかた	89	その他に、こんなメッセージが	
各設定項目	89	表示されたら	115
TVモニターの設定	91	お客様登録とアフターサービス	116
画質の調整をする	91	リセットのしかた	118
モニターの自動開閉の設定を行う (AVIC-DRV150)	94	索引	119
モニターを自動で後ろに下げる (AVIC-DRV150)	94	メニュー索引	119
その他の機能と付録	95	用語索引	120
バックカメラに切り替える	95	五十音順	120
リアモニターに表示される映像について	95	数字・アルファベット順	121
TVモニターの正しい使いかた	96	キー/ボタン索引	123
再生できるディスクの種類 (AVIC-DRV150/AVIC-DRV120)	98	仕様	124
DVDに表示されているマークの意味	99		
ディスクの操作について	100		
ディスクの構成について	100		
DVDビデオ	100		
CD	100		
MP3ファイルについて	101		
ディスクの取り扱いかた	102		
言語コード表	104		
用語の解説	105		
CD/MP3ディスク	105		
DVDビデオ	106		
故障かな?と思ったら	107		

はじめに

特長

高速化と高精度によりナビゲーションの基本機能が大きく進化しさらに使い易いカーナビになりました。

DoリモコンとDoモニターで直感操作による使い易さを実現しています

Doリモコン、タッチ操作採用のDoモニターにより、「お出かけ」から「お帰り」までやりたい操作が誰でも簡単に行うことが可能です。さらに音声操作機能も標準装備しています。

DVDビデオ再生機能でドライブをより楽しくします

AVIC-DRV150/AVIC-DRV120ではDVDビデオの再生機能を搭載しています。さらに音楽CDやMP3の再生にも対応していますので、より快適で楽しいドライブを演出します。

メモリーナビモードで、ナビゲーションとAV機能を一緒に楽しむ

AVIC-DRV150/AVIC-DRV120では、ナビゲーションの地図データなどを本体のメモリに読み込むことが可能ですのでDVDビデオやCDなどのAV機能と一緒にナビゲーション機能を活用することができます。

測位精度専用のチップを搭載、高精度なナビゲーションを実現します

自車位置を正確に測定できる測位精度専用チップを搭載することにより、高精度な測位が実現します。

3Dハイブリッドセンサーにより、自車位置を正確に表示できます

3Dハイブリッドセンサーで、坂道の登り降り（地面の傾斜）を感知できます。このため、立体交差の道路、地図上で重なりあっている道路なども的確に判断でき、測位に反映します。

VICS（道路交通情報通信システム）の情報を利用できます

FM多重放送によるVICS情報を受信して、渋滞情報を地図上に表示できます。さらに別売のVICS用ビーコン受信機でビーコンによるVICS情報を受信することができます。

DVDの大容量を活かした豊富な情報を収録しています

電話番号のデータ、各種施設のデータなど、2層DVD・8.5GBならではの豊富な情報が収録されています。データ量は膨大ですが、高速処理ができ、探したい場所もすぐに見つけられます。

10mスケールまで地図を詳細に表示できます

シティマップ(詳細市街地図)収録エリア内では、10 mスケールの詳細な地図で表示できるので、入り組んだ道路でも細かく確認できます。

よりドライバーの視点に近い地図表示ができます

ドライバースビューやスカイシティマップで、よりドライバーの走行感覚に近いリアルな表示ができます。

細い道の探索も行って、ドアtoドア探索ができます

住宅地などの細い道路までも検索することができるため、まさに自宅から目的地までのドアtoドア探索ができます。また、このときに設定されたルート上の細い道路はピンク色で表示されるため、細い道路であることを簡単に判別できます。

ご使用前に知っておいていただきたいこと

本機のご使用にあたっては、付属のナビゲーション用地図ディスク「DVD [楽ナビ] マップType II Vol.1」をお使いください。指定以外のDVD-ROMディスクは使用できません。また、CD-ROM(「スーパーエリアマップシリーズ」や「ロードナビゲーターシリーズ」など)も使用できません。

現在地の表示について

初めて本機を使うときは、現在地とは異なる地図が表示されたり、地図上に表示されている現在地と実際の自車位置が大きくずれることがあります。これは故障ではありません。しばらくすると正しい現在地が表示されます。また、本機は自車位置と現在地の誤差を補正する機能をそなえています。この働きによって、走行を重ねるにつれて精度が高くなり、ずれが少なくなってきます。

3Dハイブリッドセンサーについて

初めて本機を使う場合、電源を入れた後に走行して3Dハイブリッドセンサーの初期学習を行ってください。

3Dハイブリッドセンサーの初期学習が終了するまでは、GPS衛星のみの測位となるため、自車位置がずれたり止まったりすることがあります。

初期学習が終了すると高精度で自車位置を測位することが可能となります。

安全走行のために

走行中に運転者がナビゲーションの画面に気を取られたり、操作に迷ったりすると大変危険です。交通の状況、歩行者などに十分注意しながら運転してください。本製品には交通規制データが収録されておりますが、交通規制の変更等により、実際とは異なる場合があります。運転に際しては必ず実際の交通標識や案内掲示板等に従ってください。

本機は、安全のため走行中にテレビなどの映像を見ることができないようになっています。また、走行中はナビゲーションの一部のメニュー操作や地図の連続スクロール、フリーズームなどはできません。またAV操作も一部できません。安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

画面が見えにくいときは

液晶画面は、その構造上きれいに見える角度が限られています。

初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度に合わせて黒の濃さを調整してください。また、液晶画面自体の明るさも変更できますので、お好みに応じて調整してください。



「TVモニターの設定」(P91)を参照してください。

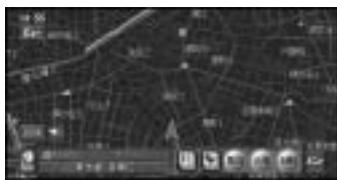
昼間と夜間の色の違いについて

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見えにくくなってしまふことがあります。そこで、本機では昼画面と夜画面とで画面の配色を変えて、それぞれ見やすい画面を表示します。

出荷時は、日没の時刻になると自動的に夜画面に変わるように設定されています。地図の機能設定により、つねに昼画面、夜画面を表示させておくこともできます。



昼画面



夜画面

本書では、昼画面を例に説明しています。このため、夜画面が表示されている場合、本書の説明と画面の色が異なる場合があります。

バッテリー上がりを防ぐために

本機の電源は、ACCに連動してON/OFFします。本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

車外の音が十分に聞こえる音量に設定する

車外の音が聞こえにくいと、交通事故の原因となります。安全運転をさまたげないように適度な音量でお聞きください。

携帯電話をお使いになるときは

携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナをTVモニターに近づけないでください。画面にはん点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

TVモニターの液晶画面を保護するために

本機を使用していないときは、TVモニターに直射日光が当たらないようにしてください。高温のために液晶画面が故障するおそれがあります。

著作権

本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析等することはできません。

その他

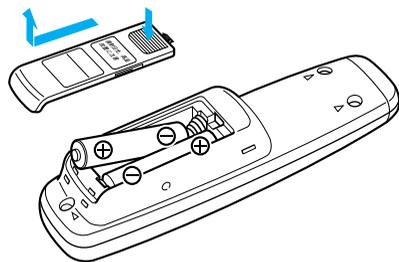
弊社は、本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。その場合における変更前の本製品の改造、またはお取り替えのご要望には応じかねます。説明書で使っている画面例は、実際の画面と異なる場合があります。

実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

お使いになる前の準備

リモコンに電池をセットする

裏ボタンをはずして、単4形アルカリ乾電池（LR03）2本をセットします。



⚠ リモコンの取り扱いに関するご注意

- ・リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障することがあります。リモコンを使用しないときは、グローブボックスなど直射日光の当たらないところに保管してください。
- ・リモコン受光部に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。

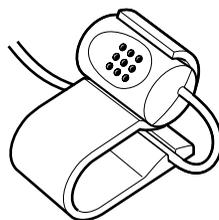
電池の取り扱いに関するご注意

- ・電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。電池の破裂、液もれにより、火災やけがの原因となることがあります。
- ・乾電池は充電できません。
- ・リモコンを長期間使わないときは、電池を取り出してください。また、取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- ・電池の液もれが起こったときは、内部に付着した液をよく拭き取ってから新しい電池と入れ換えてください。
- ・リモコンからの信号が受け付けられる範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。
- ・リモコンの電池を交換するときは、電池寿命の長いアルカリ電池のご使用をおすすめします。
- ・不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示(条例)に従って処理してください。

音声認識用マイク（別売「CD-VM10」）

TVモニターの設定位置などにより、TVモニター内蔵のマイクで音声うまく認識されないときは、別売の音声認識用マイク「CD-VM10」をナビゲーション本体に接続します。

接続した場合は、モニター内蔵のマイクは無効となります。このマイクに向かって発話してください。

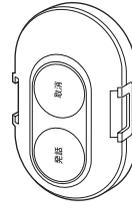


モニターの背面付近にエアコンの吹き出し口がある車両でお使いの場合、エアコンの風の影響で音声の認識がしにくくなることがあります。その場合は別売の音声認識用マイクの使用をお勧めします。

音声認識コントローラー（別売「CD-SR5」）

別売のステアリング取付型の音声認識コントローラーです。ステアリングから手を離さずに、より安全に音声による操作を行うことができます。

「CD-SR5」の「発話」ボタン、「取消」ボタンは、本機付属のリモコンの②「発話」ボタン、「戻る」ボタンと同じ働き（ P22 ）をします。



電源の入れかた、切りかた

本機の電源は、車のエンジンをかけると自動的に入り、エンジンを切ると電源も切れます。

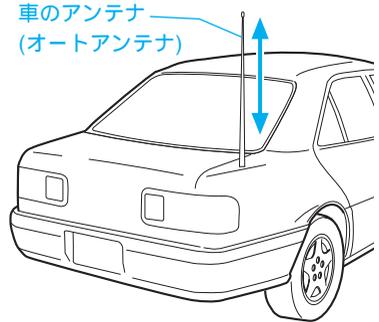
- ⚠️ • 本機をお使いなるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっているときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

- 🔌 • AVIC-DRV150は、自動的にTVモニターが立ち上がり、または格納されます。（ P25 ）

オートアンテナの操作について

本機をオートアンテナ車に取り付けた場合（別売のFM多重用アンテナ分配機「RD-FD20」使用時）は、本機の電源ONに連動してオートアンテナが上がることがあります。屋内ではご注意ください。オートアンテナは、本機の操作で上げ下げすることができます。

車のアンテナ
(オートアンテナ)



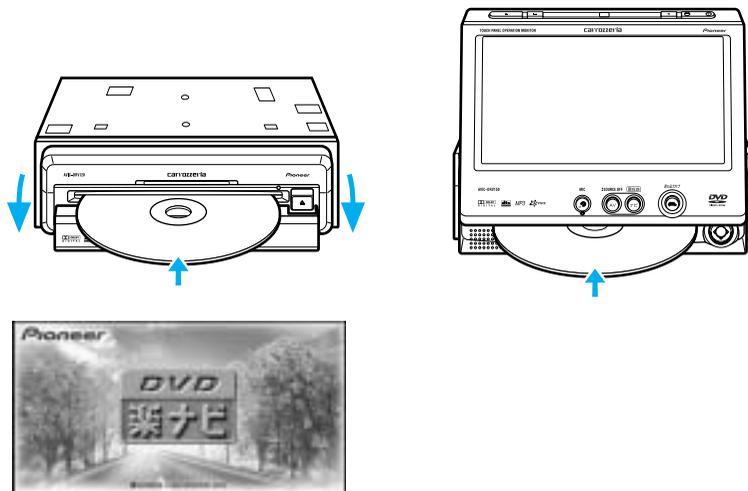
オートアンテナを上げる・下げる

- 1 「お帰」ボタンを長く押し続ける
ボタンを長く押すごとにオートアンテナがON（上げる）とOFF（下げる）が切り替わります。

- 🔌 オートアンテナ車以外では常にONに設定しておいてください。OFFに設定するとVICS/FM多重放送の受信ができなくなる場合があります。

ディスクのセットのしかた

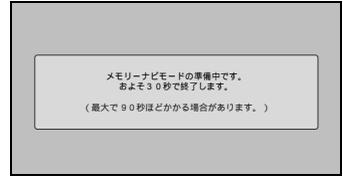
- 1** タイトル面を上にして、ディスクをディスク挿入口に差し込む
ディスクを少し差し込むと、後は自動的に引き込まれ、オープニング画面が表示されます。(ナビゲーションの準備をしています。)しばらくすると地図が表示されます。



- 注意**
- 本機では、本機に対応したディスクのみお使いいただけます。(P98)
 - AVIC-DRV150/-DRV120は、購入後(バッテリーを外した後リセットボタンを押した後も含む)地図ディスクを一度セットしてプログラムを読み込ませないと、テレビやDVD/CD/MP3などのAV機能も動作しません。必ず最初に地図ディスクをセットしてください。
 - AVIC-DR100は、常時地図ディスクをセットしていないと動作しません。必ず地図ディスクをセットしておいてください。

初めてお使いになるときは

この画面が表示されますので、そのまましばらくお待ちください。



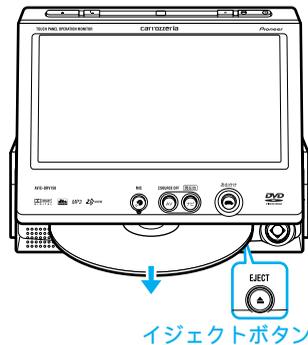
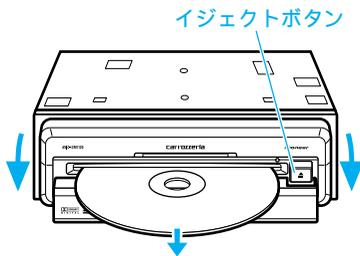
- バッテリーを外したときもこの画面が表示されることがあります。

初期学習が終了していないときは、この画面が表示されます。**確認** にタッチして走行を開始してください。



ディスクの取り出しかた

- ▲「イジェクト」ボタンを押す
ディスクが少し出てきます。

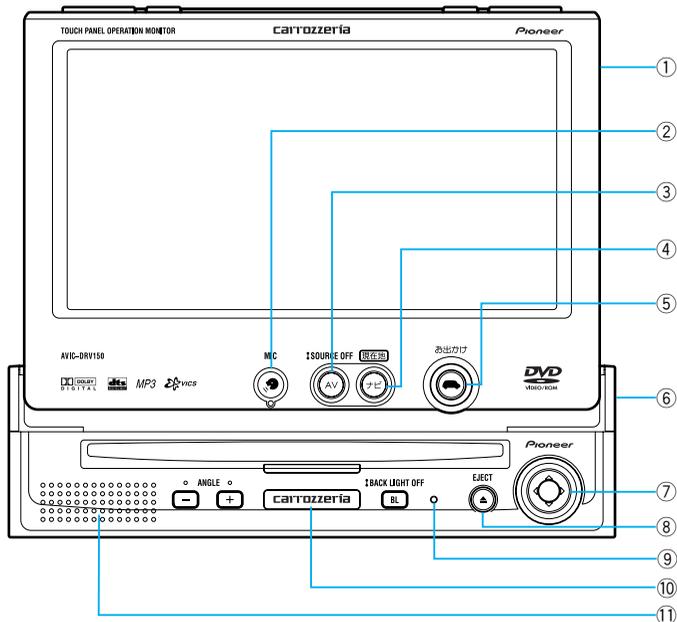


- メモリーナビモードの準備中などに▲「イジェクト」ボタンを押すと、確認のメッセージが表示されます。▲「イジェクト」ボタンを2秒以上押すとディスクを取り出すことができます。その場合は、以後の動作に制限が生じる場合があります。
- ディスクを取り出したら、必ずフロントドアを閉じてください(AVIC-DRV120/-DR100)。
- 取り出したディスクは、ケースに入れて保管してください。

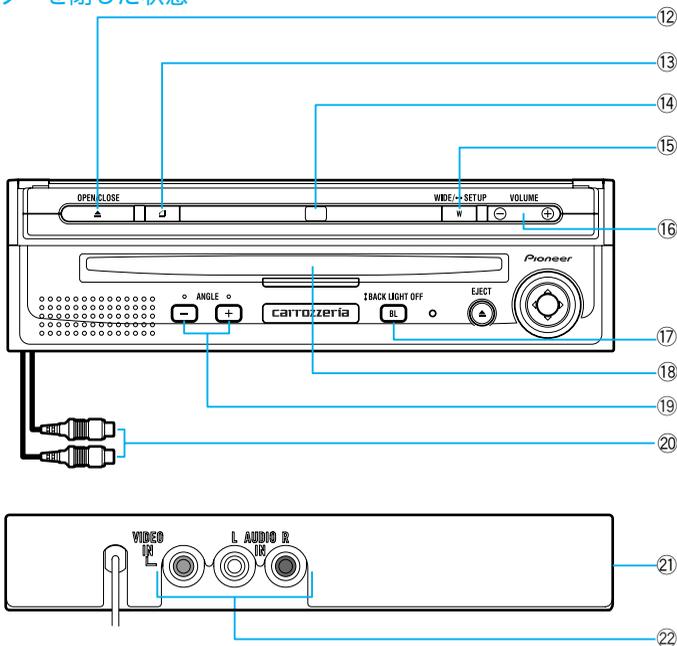
各部の名前とおもな働きを知る

AVIC-DRV150

モニターを開けた状態



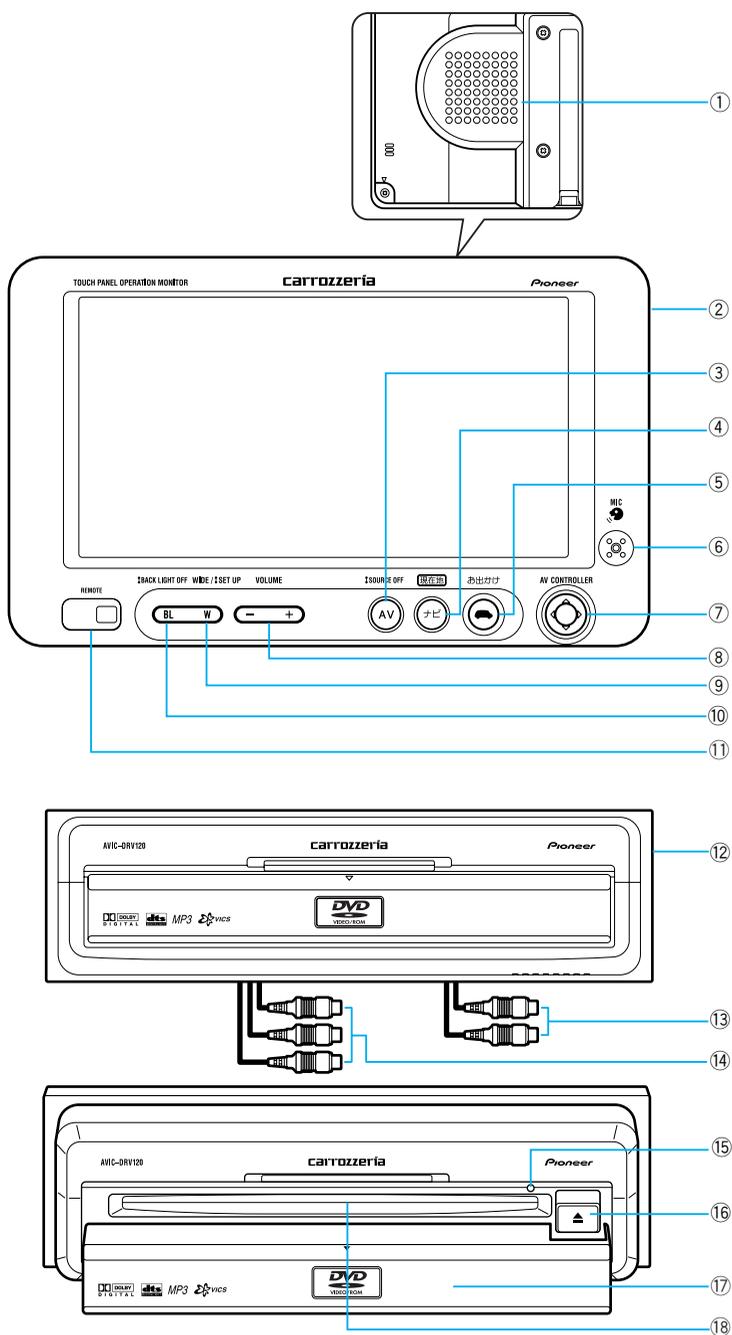
モニターを閉じた状態



- ① TVモニター
- ② 音声認識用マイク
このマイクに向かって発話してください。
-  モニターの背面付近にエアコンの吹き出し口がある車両でお使いの場合、エアコンの風の影響で音声の認識がしにくくなることがあります。その場合は別売の音声認識用マイク「CD-VM10」の使用をお勧めします。
- ③ 「AV」ボタン
AVソースをONにして、AVソースの画面に切り替えます。
2秒以上押すことにより、AVソースがOFFになります。
- ④ 「ナビ」/現在地ボタン
地図上に自分の車の位置を表示します。
またAVソース画面表示のときに押すと音声はAVソースのまま、映像がナビゲーションに切り替わります。
- ⑤  「お出かけ」ボタン
ナビゲーションで目的地を探したいときに使います。
- ⑥ ナビゲーション本体
- ⑦  「十字方向」ボタン
曲の早送りや早戻し、TVやDVDビデオ/CD/MP3の操作などに使います。
- ⑧ ▲「イジェクト」ボタン
ディスクを取り出すときに使います。
- ⑨ リセットボタン
- ⑩ リモコン受光部
リモコンをここに向けて操作します。
- ⑪ 内蔵スピーカー
- ⑫ ▲「オープン/クローズ」ボタン
手動でTVモニターを開いたり、閉じたりするときに押します。
- ⑬  「一時可倒」ボタン
TVモニターを一時的に倒すときに使います。
- ⑭ 外光センサー
周辺の明るさを検知します。
- ⑮ W「画面」ボタン
表示サイズを変更するときに使います。2秒以上押すことにより、画質調整モードに入ります。
- ⑯ ⊖ ⊕ 「ボリューム」ボタン
+を押すと音が大きく、-を押すと音が小さくなります。
-  ガイド音声出力中および音声操作（認識）中は「ボリューム」ボタンの操作ができません。解除された状態のときに操作してください。
- ⑰ BL「バックライト」ボタン
2秒以上押すことにより、バックライトをOFFにすることができます。
- ⑱ ディスク挿入口
- ⑲  「アングル」ボタン
TVモニターの角度を調節するときに使います。
- ⑳ リアモニター映像出力/リモコン信号入力（背面）
後席用モニター「TVM-W650」に接続するための端子です。
- ㉑ ハイダウェイユニット
- ㉒ 映像入力/音声入力
VTRやバックカメラを接続します。

各部の名前とおもな働きを知る

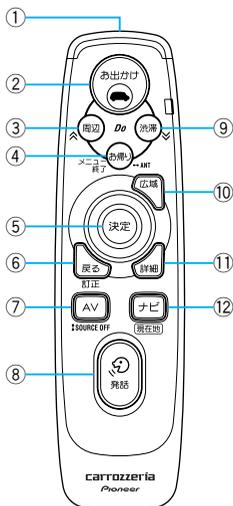
AVIC-DRV120/AVIC-DR100



- ① 内蔵スピーカー（背面）
- ② TVモニター
- ③ 「AV」ボタン
AVソースをONにして、AVソースの画面に切り替えます。
2秒以上押すことにより、AVソースがOFFになります。
- ④ 「ナビ」/現在地ボタン
地図上に自分の車の位置を表示します。
またAVソース画面表示のときに押すと音声はAVソースのまま、映像がナビゲーションに切り替わります。
- ⑤  「お出かけ」ボタン
ナビゲーションで目的地を探したいときに使います。
- ⑥ 音声認識用マイク
このマイクに向かって発話してください。
-  モニター付近にエアコンの吹き出し口がある車両でお使いの場合、エアコンの風の影響で音声の認識がしにくくなる場合があります。その場合は別売の音声認識用マイク「CD-VM10」の使用をお勧めします。
- ⑦  「十字方向」ボタン
曲の早送りや早戻し、TVやDVDビデオ/CD/MP3の操作などに使います。
- ⑧ - +「ボリューム」ボタン
+を押すと音が大きく、-を押すと音が小さくなります。
-  ガイド音声出力中および音声操作（認識）中は「ボリューム」ボタンの操作ができません。解除された状態のときに操作してください。
- ⑨ W「画面」ボタン
表示サイズを変更するときに使います。2秒以上押すことにより、画質調整モードに入ります。
- ⑩ BL「バックライト」ボタン
2秒以上押すことにより、バックライトをOFFにすることができます。
- ⑪ リモコン受光部/外光センサー
リモコンをここにに向けて操作します。
また、周辺の明るさもここで検知します。
- ⑫ ナビゲーション本体
- ⑬ リアモニター映像出力/リモコン信号入力（背面）
後席用モニター「TVM-W650」に接続するための端子です。
- ⑭ 映像入力/音声入力（背面）
VTRやバックカメラを接続します。
- ⑮ リセットボタン
- ⑯ ▲「イジェクト」ボタン
ディスクを取り出すときに使います。
- ⑰ フロントドア
ディスクの出し入れのときに開きます。
- ⑱ ディスク挿入口
-  AVIC-DR100には、DVDビデオ/CD/MP3再生機能、リアモニター映像出力/リモコン信号入力はありません。

各部の名前とおもな働きを知る

リモコン



- ① リモコン送信部
ここをリモコン受光部に向けて操作します。
- ②  「お出かけ」ボタン
ナビゲーションで目的地を探したいときに使います。
- ③ 「周辺」ボタン
近くにあるガソリンスタンドなどの施設を探したいときに使います。
- ④ 「お帰り」ボタン
自宅へ帰るルートを探したいときに押します。
- ⑤ ジョイスティック/「決定」ボタン
地図を動かす(スクロール)ときやメニューを操作するとき、AVソース画面でAV操作を行うときに使います。
8方向(上下・左右・斜め)に動かすとジョイスティックになります。
まっすぐ押すと「決定」ボタンになります。

 ナビゲーション画面で「決定」ボタンを押すと、タッチキーの「メニュー」を選んだこととなり、メニューを表示することができます。

- ⑥ 「戻る」/訂正ボタン
ナビゲーションのメニュー操作で、1つ前の状態に戻りたいときに押します。
音声操作で、直前の音声操作を取り消すときに押します。
- ⑦ 「AV」ボタン
AVソースをONにして、AVソースの画面に切り替えます。
2秒以上押すことにより、AVソースがOFFになります。
- ⑧  「発話」ボタン
音声で操作したいときに押します。
- ⑨ 「渋滞」ボタン
渋滞情報などの交通情報を見たいときに使います。

 リスト画面表示中にこのボタンを押すと、リストのページ送りを行なうことができます。(P37)

- ⑩ 「広域」ボタン
地図を広域にします。
- ⑪ 「詳細」ボタン
地図を詳細にします。
- ⑫ 「ナビ」/現在地ボタン
地図上に自分の車の現在地を表示します。

操作のしかた

本機ではTVモニターやリモコンにあるボタンと共に、画面上に表示されるタッチキーで操作を行います。

タッチキーでの操作のしかた

画面上に表示されるタッチキーに軽く触れる（タッチすることにより、操作を行います。本書では、タッチキーにタッチして操作することを「～にタッチする」または「～を選ぶ」と表記しています。



- 操作中に「ナビ」ボタンを押すと、いつでも現在地の画面に戻すことができます。
- 画面は傷つきやすいので、必ず指で触れて操作してください。

ショートカットタッチキーにタッチして操作する

本機の走行画面上には、（周辺）、（渋滞）、（お帰り）のタッチキーが表示され、それぞれのタッチキーにタッチすると、リモコンの同ボタンを押したときと同じように、各機能を操作することができます。



ショートカットタッチキー

また、その左側には、お好みの3つのジャンルをまとめて検索できるお好み周辺検索タッチキーの2つが表示され、タッチキーにタッチすると、お好み検索を操作することができます。

「お好み周辺検索タッチキーを使おう」
(P53)



お好み周辺検索タッチキー

- 本機では、これらの5つのタッチキーをショートカットタッチキーと呼んでいます。

タッチキーの再表示のしかた（AVソース時）

テレビやVTR映像のときに数秒間何も操作しないと、タッチキーは自動的に画面上から消えます。

再表示するときは、画面にタッチするか、リモコンの「決定」ボタンまたはTVモニターの「十字方向」ボタンを押します。

リモコンでの操作のしかた

リモコン上に配置されたそれぞれのボタンとジョイスティックにより、操作を行います。本書では、リモコン上のボタンを押して、操作することを「**決定** ボタンを押す」と、ジョイスティックで項目を選び「**決定**」ボタンを押して操作することを「**～を選ぶ**」と表記しています。

ジョイスティックとして使う

画面に表示されるメニュー項目にカーソルを合わせたり、地図を希望する場所まで動かしたり（スクロール）する場合に使います。

ジョイスティックとして使う場合は、上下・左右・斜めに倒します。

項目にカーソルを合わせる

ジョイスティックを上下(または左右)に倒して項目にカーソルを合わせます。

合わせた項目の色が変わります。



「決定」ボタンとして使う

カーソルを合わせた項目を選んだり、入力項目を決定する場合などに使います。

「決定」ボタンとして使う場合は、まっすぐに押します。



カーソルを合わせた項目を選ぶ

カーソルを合わせた後に「決定」ボタンを押すと、その項目が選ばれます。

操作の表記

本書では、タッチキーにタッチする操作と、ジョイスティックで選んで「決定」ボタンを押す操作が同様である場合に、「～を選ぶ」と表記しています。

同様でない場合や、独自の操作である場合は、「～にタッチする」や「「決定」ボタンを押す」などのように表記しています。

また同様の操作であっても、説明上わかりやすくするために、タッチキーでの操作を記載し、リモコンでの操作をヒント中()に記載している箇所もあります。

-  リモコンでの操作は、基本的にタッチキーの操作と同様です。各説明書では、タッチキーでの操作を中心に記載しており、リモコン操作はタッチキーの操作とは動作が異なる場合について記載しています。ただし、タッチキーで操作できても、リモコンで操作できないものもあります。タッチキーに触れる操作は、ジョイスティックでカーソルを項目に合わせて、「決定」ボタンを押すまでの操作とご理解ください。

TVモニターを操作する (AVIC-DRV150)

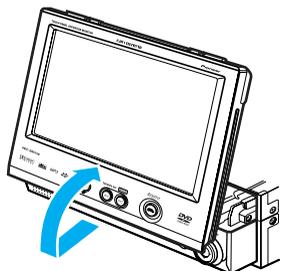
TVモニターを立ち上げる/角度を調節する/収納する

画面の角度を調整できます。車外からの光が画面に反射しているときなどは、見やすくするように調整してください。

1 車のエンジンスイッチをONにする

自動開閉機能により、自動的にモニターが立ち上がります。

モニターが自動的に立ち上がらない場合は、▲「オープン/クローズ」ボタンを押して立ち上げてください。

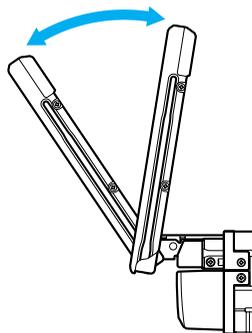
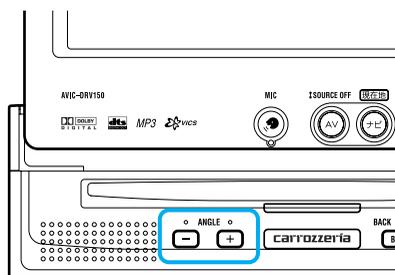


2 画面を見やすい角度に調節する

「アングル」ボタンを押します。

⊕ : 画面を上向きにするとき

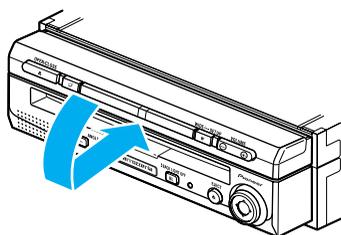
⊖ : 画面を下向きにするとき



! 角度の調節は、手では行わないでください。モニターに強い力が加わると、故障することがあります。

TVモニターを操作する (AVIC-DRV150)

3 ▲「オープン/クローズ」ボタンを押して、モニターを本体に収納する



- ⚠️ モニターが完全に収納されたことを確認してください。モニターが途中で止まってしまった場合、▲「オープン/クローズ」ボタンを押して手動で収納してください。(そのまま放置しないでください。故障することがあります。)

- 🔌 モニターは、自動開閉機能により次のように動作します。
エンジンスイッチをON (またはACC) にすると、自動的にモニターが立ち上がります。車のエンジンスイッチをOFFにすると、OFFにしてから約6秒後にモニターが本体に収納されます。

自動開閉機能を、OFFにすることもできます。(P94)

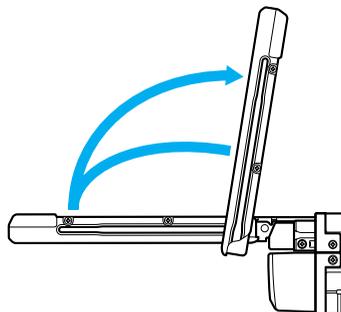
- 本体にモニターを収納して車のエンジンスイッチをOFFにしたときは、再びエンジンスイッチをON (またはACC) にしても、モニターは立ち上がりません。▲「オープン/クローズ」ボタンを押して立ち上げてください。
- モニターが車のコンソールやダッシュボードに当たる場合は、⏏️を押して、モニターを手前に調節してください。
- 立ち上がったモニターを後ろに下げることができます。(P94)
- 角度調節したモニターを立ち上げたときは、自動的に調節した角度になります。

TVモニターを一時的に手前に倒す

TVモニターの背後にあるスイッチなどを操作したいときに、一時的にTVモニターを手前に倒すことができます。

1 ⏏️「一時可倒」ボタンを押す

TVモニターが手前に倒れ、約10秒後に自動的に元に戻ります。



基本操作編

DVD[楽ナビ]の基本を覚えよう



近くの施設を探そう

周辺



渋滞情報を確認しよう

渋滞



自宅へ帰ろう

お帰り



基本操作編

DVD[楽ナビ]の基本を覚えよう

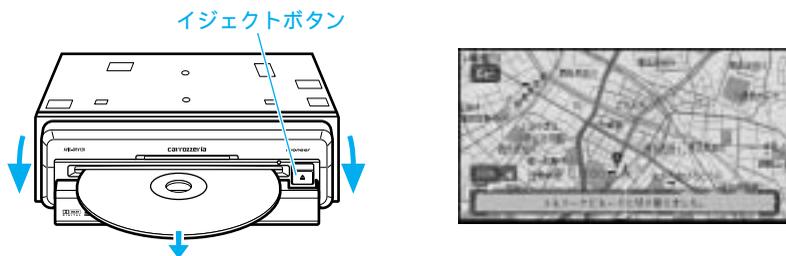
メモリーナビモードとは (AVIC-DRV150/AVIC-DRV120)

従来のナビゲーションは、地図ディスクのデータを読み込みながら機能する方式なので、地図ディスクを取り出して、音楽CDやDVDビデオなどを再生することができませんでした。

AVIC-DRV150/AVIC-DRV120は、メモリーナビモードの機能を搭載していますので地図ディスクのデータ情報を本機のメモリに読み込むことができます。

地図ディスクを取り出しても、メモリーナビモードが地図ディスクの代わりに本機のメモリに読み込んだデータでナビゲーションを行いますので、音楽CDやDVDビデオなどをナビゲーション機能と一緒に楽しむことができます。

メモリーナビモードへの切り替えは、地図ディスクを取り出したときに行われます。



メモリーナビモードでのナビゲーションについて

メモリーナビモード時は、読み込んだメモリ上のデータのみで機能しますので、通常
の地図ディスクを使用したナビゲーション (DVDナビモード) に比べ、いくつかの機
能が制限されています。また、ガイド音声の声質が変わります。

メモリーナビモードは、自宅を登録したときにメモリに登録されるホームエリア (P38) とルート探索後にメモリに読み込まれるルート周辺エリアのデータ (P29) に基づきナビゲーションが行われます。

メモリに読み込まれたデータは、電源をOFFにしても消えません。

メモリーナビモード動作時は、機能とエリアに制限があります。詳しくは、『ナビゲーションブック』を参照してください。

メモリーナビモード（ルート周辺エリア）準備中/準備完了画面

メモリーナビモードは、ルート探索後などに必要なデータを地図ディスクから本機のメモリに読み込んで準備をします。メモリーナビモードの準備中はが、準備が完了するとが画面左上に表示されます。



が表示されている状態であれば、いつでも地図ディスクを取り出してメモリーナビモードで動作させることが可能です。

-  メモリーナビモードの準備中に、地図ディスクを取り出したいときは、▲「イジェクト」ボタンを2秒以上押します。
-  にタッチするとルート周辺エリアの準備状況(準備完了地点と現在地からの距離)を確認することができます。

メモリーナビモード中の地図画面

メモリーナビモードで動作しているときは、地図画面の左上にが表示されます。



-  にタッチするとルート周辺エリアの準備状況(準備完了地点と現在地からの距離)を確認することができます。

地図の見かたや操作を覚えよう

現在地を表示させる

「ナビ」ボタンを押すと、自分の車の現在地周辺の地図を表示します。

現在地画面は、車の走行に合わせて自動的に動きます。

現在地画面

ノーマルビュー

現在の時刻

方位表示

赤い三角が北方向
を示します。

縮尺表示

下の が縮尺の距離
を示します。
(2D表示のみ)



VICSの情報
提供時刻

自車マーク

車の位置と進行方向
を表します。

現在地の地名

自車位置周辺の地名
を示します。



- 安全のため、走行中は細街路（灰色の細い道）は表示しない仕様となっています（細街路走行中を除きます）。
- 現在の時刻は、GPS衛星から受信した電波に基づいて表示しているため、時刻を変更することはできません。
- VICSの情報提供時刻は現在の時刻ではありません。VICS/FM多重放送による提供時刻はF：、ビーコンによる提供時刻（別売のビーコン受信機接続時）はB：で表示されます。

地図の動かしかた

地図を動かすには、地図上の見たい場所をタッチするか、ジョイスティックを見たい場所の方向に倒して地図をスクロールします。

以下の操作は、タッチした場合で説明しています。

1 画面にタッチする

十字カーソルと **微調整** が表示されます。

十字カーソル



2 地図上の見たい場所にタッチする

タッチした場所が中心となるように地図が動きます。

タッチし続けると、その方向にスクロールします。また、画面中央のカーソルから離れた場所にタッチするほど、スクロールする速度が早くなります。



3 **微調整** にタッチする

8方向のスクロール矢印が表示されます。



4 表示を微調整する

矢印にタッチするごとに地図が少しずつ動きます。また、画面の任意の場所をタッチしても地図が動きます。



- ・リモコンのジョイスティックを使ってスクロールすることもできます。
- ・もう一度 **微調整** にタッチすると、8方向の矢印が消えます。
- ・画面にタッチしたまま指を動かし、スクロールすることもできます。
- ・走行中は **微調整** の操作はできません。
- ・走行中にスクロール操作をすると、タッチしたところまでスクロールして停止します。ただし、詳細市街地図表示中はスクロールできません。
- ・微調整中でもジョイスティックでのスクロールは通常通りにスクロールします。
- ・走行中は、ジョイスティックでのスクロールでは半画面分スクロールします。
- ・「ナビ」ボタンを押すと、現在地周辺の地図に戻ります。
- ・スクロールさせた状態で本機の電源をOFF/ONすると、現在地の画面に戻ります。

スクロール画面

スクロール中



スクロール方面表示
地図の縮尺を、10m ~ 1kmスケールにしている場合に表示されます。

スクロール停止



現在地の方向
十字カーソル位置と現在地を結んだ線。

十字カーソル位置の地名
十字カーソル位置周辺の地名を示します。

十字カーソル画面の中心に表示されます。

現在地から十字カーソル位置までの直線距離

地図を広域・詳細にする

地図の縮尺は、10m～500kmまでのスケール表示の範囲で変えることができます。

詳しくは、『ナビゲーションブック』の「地図の縮尺を変える」を参照してください。

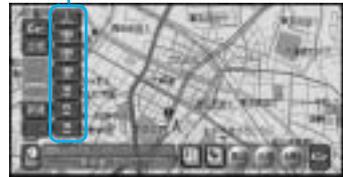
1 縮尺表示にタッチする

10m～1kmの縮尺のダイレクトスケールキーと、**詳細**・**広域**が数秒間表示されます。

縮尺表示



ダイレクトスケールキー



2 ダイレクトスケールキーまたは**詳細**や**広域**にタッチする

ダイレクトスケールキーは、タッチした縮尺で地図を表示します。

詳細や**広域**は、タッチするたびに、10m、25m、50m、100m、200m、500m、1km、2km、5km、10km、20km、50km、100km、200km、500kmのスケール表示ごとに縮尺が変わります。

詳細に
タッチする



広域に
タッチする



スケールバー

現在のスケールを表示します。

- リモコンの「広域」、「詳細」ボタンを使って操作することもできます。
- 詳細**や**広域**をタッチし続けると、タッチしている間、縮尺が連続的に変化します（フリーズーム）。ただし、走行中は安全のためフリーズームの操作はできません。
- 詳細市街地図収録エリアでは、地図の縮尺が10m～50mスケールのときに詳細な市街地図で表示されます。10mスケール表示は、詳細市街地図収録エリアでのみ表示できます。詳細市街地図収録エリアについては、『ナビゲーションブック』を参照してください。
- メモリーナビモード時は、詳細市街地図の表示およびフリーズームはできません。また、表示できる縮尺に制限があります。
- 設定した地図の縮尺は、本機の電源をOFFにしても記憶しています。

地図の表示方法を変えてみよう

さまざまな状況に応じて地図の表示方法を変えることができます。

地図の表示方法は、5種類あります。

ノーマルビュー（2D表示）	通常の地図（平面の地図）で表示されます。
スカイビュー（3D表示）	上空から見ているような地図を表示します。
ドライバーズビュー（3D表示）	ドライバーの目線から見たような地図を表示します。
ツインビュー（2画面表示）	画面を左右2つに分割し、左画面はスカイビュー、右画面はノーマルビューで表示します。
ハイウェイモード	有料道路走行時の専用画面で、走行に役立つ情報が表示されます。

 各種類の詳細な情報は、『ナビゲーションブック』の「地図画面の表示方法を変える」を参照してください。

1 **ビュー** にタッチする

ビュー切り替えメニューが表示されます。

 現在地画面では「ナビ」ボタンを2秒以上押しても、ビュー切り替えメニューを表示させることができます。

ノーマルビュー



2 表示方法を選んでタッチする

選んだ表示方法で地図が表示されます。

- 
- メモリーナビモード時はドライバーズビュー、ツインビューを選ぶことはできません。また、ハイウェイモードはルートが設定されているときのみ動作します。
 - ハイウェイモードは、有料道路以外では選ぶことができません。
 - ビュー切り替えメニュー表示中は、**機能設定**が表示され、タッチすることで機能設定画面を表示することができます。



スカイビュー



メニュー操作の基本を覚えよう

本機の基本的な操作は、メニューから項目を選んで行います。

メニューを表示する

メニューには、TVモニターやリモコンの「お出かけ」ボタンを押したときに表示されるお出かけメニューとメニューにタッチしたときやリモコンの「決定」ボタンを押したときに表示されるショートカットメニューがあります。

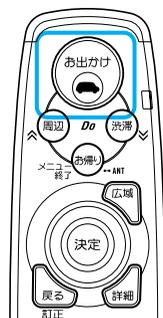
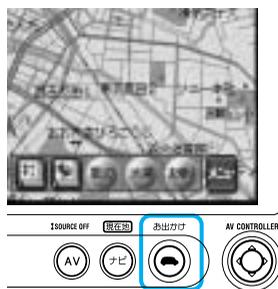
- ⚠️ 安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
- 📖 各メニュー項目の内容は、『ナビゲーションブック』の「メニュー操作」を参照してください。

お出かけメニューを表示させる

お出かけメニューは、「お出かけ」のときに行き先を探すなどの操作を行うことができます。

簡単にルートを探索することができます。

- 1 TVモニターやリモコンの「お出かけ」ボタンを押す
お出かけメニューが表示されます。



2 検索の方法を選ぶ

各検索方法の画面が表示されます。

- 📖 お出かけメニューについては、「お出かけメニューで利用できる検索方法」(P44)を参照してください。
- メニューを終了するには、「ナビ」ボタンを押すか、リモコンの「お帰り」ボタンを押します。



メニュー操作の基本を覚えよう

ショートカットメニューを表示させる（現在地画面）

あらかじめ設定してある条件で、ルートを探索するクイックルート探索や、すでに設定してあるルートの編集、地点の登録などを行うことができます。

- 1 現在地（走行）画面で **メニュー** を選ぶ
ショートカットメニューが表示されます。

 リモコンの「決定」ボタンを押して表示させることもできます。



2 項目を選ぶ

選んだ項目を実行する画面が表示されます。

- 
- **地図に戻る** を選ぶと、前の画面に戻ります。
 - **サブメニュー** を選ぶと、情報の表示やデータの編集、各種設定などを行うことができます。
各メニュー項目の内容は、『ナビゲーションブック』の「メニュー操作」を参照してください。
 - 「ナビ」ボタンまたはリモコンの「お帰り」ボタンを押しても、メニューを終了させることができます。



ショートカットメニューを表示させる（スクロール画面）

行き先・立寄地の設定や地点の詳細情報の表示などを行うことができます。

- 1 スクロール画面で **メニュー** を選ぶ
ショートカットメニューが表示されます。

 リモコンの「決定」ボタンを押して表示させることもできます。



2 項目を選ぶ

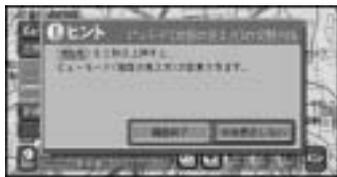
選んだ項目を実行する画面が表示されます。

- 
- **地図に戻る** を選ぶと、前の画面に戻ります。
 - **サブメニュー** を選ぶと、情報の表示やデータの編集、各種設定などを行うことができます。
各メニュー項目の内容は、『ナビゲーションブック』の「メニュー操作」を参照してください。
 - 「ナビ」ボタンまたはリモコンの「お帰り」ボタンを押しても、メニューを終了させることができます。



ヒントポップアップについて

DVD[楽ナビ]では、操作中にその操作に関するヒントがポップアップ表示されることがあります。



表示されるヒントポップアップは、画面の状況により異なります。

確認終了：ヒントポップアップを消します。

今後表示しない：表示されたヒントポップアップを次回より表示しない設定にします。

- ヒントポップアップを全て表示しない設定にすることもできます。詳しくは、『ナビゲーションブック』を参照してください。
- メニュー** **サブメニュー** **ヒントポップアップ集**の順に操作すると、ヒントポップアップとして用意されている画面を選んで見ることができます。

リスト表示の画面操作

左横に ・・・が表示されます。そのキーにタッチするか、リモコンの「周辺」、「渋滞」ボタンを押すことで見えていない項目を表示させることができます。

共通操作

カーソル送り：・またはリモコンのジョイスティックを上下に倒す。

ページ送り：・またはリモコンの「周辺」、「渋滞」ボタンを押す。またはジョイスティックを左右に倒す。



タブ付きリスト

都道府県名、市区町村名、地名などのリストでは、共通操作の他にタブをタッチするか、ジョイスティックを左右に倒すことで、50音(あいうえお...)の「あ」から「い」へ、などのように次の音へリストを送ることができます。また行送りキーを直接タッチすることでその行のリストへ送ることができます。

タブ送り(あいうえお)：タブに直接タッチするか、ジョイスティックを左右に倒す。

行送り(あかさたな)：行送りキーにタッチする。



自宅を登録しておこう

本機を使い始める前に自宅の場所を登録しておきましょう。自宅の場所を登録しておくと、ドライブ先から自宅へ帰るときなど、簡単な操作でルートを設定できるようになります。

自宅にいるときに登録するには

! 安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

1  にタッチする
自宅登録確認画面が表示されます。

👉 リモコンの「お帰り」ボタンを押して操作することもできます。



2 **はい** を選ぶ
自宅が登録されます。

- 👉**
- 自宅の場所を変更したい場合は、『ナビゲーションブック』の「登録地の位置を変更する」を参照してください。
 - 自宅の登録方法は、この他にもいくつかありますので、『ナビゲーションブック』を参照して、状況により操作してください。
 - 設定した自宅の位置は、本機の電源をOFFにしても記憶しています。



ホームエリアについて (AVIC-DRV150/AVIC-DRV120)

ホームエリアとは、メモリーナビモード用にあらかじめ読み込んでおく地図データのエリアです。自宅を登録すると、その地点を中心として周囲約30 km四方が、ホームエリアとして自動的に登録され、本機のメモリーに地図データが読み込まれます。



- 👉**
- すでにホームエリアが登録されている場合は、読み込まれません。
 - 登録したホームエリアを変更したいときは、**メニュー** **サブメニュー** **各種の設定をする** **ホームエリア設定** の順に操作します。

自宅以外の場所にいるときに登録するには

 安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

1 地図をスクロールさせて、十字カーソルを自宅位置に合わせる



2  にタッチする
自宅登録確認画面が表示されます。



 リモコンの「お帰り」ボタンを押して操作することもできます。

3 **はい** を選ぶ
十字カーソルの場所が自宅として登録されます。

-  ・自宅の場所を変更したい場合は、『ナビゲーションブック』の「登録地の位置を変更する」を参照してください。
- ・自宅の登録方法は、この他にもいくつかありますので、『ナビゲーションブック』を参照して、状況により操作してください。
- ・設定した自宅の位置は、本機の電源をOFFにしても記憶しています。



ナビスタート編

DVD[楽ナビ]を使おう



近くの施設を探そう

周辺



渋滞情報を確認しよう

渋滞



自宅へ帰ろう

お帰り



ナビスタート編

DVD[楽ナビ]を使おう

行き先を探そう

渋滞情報を確認しよう

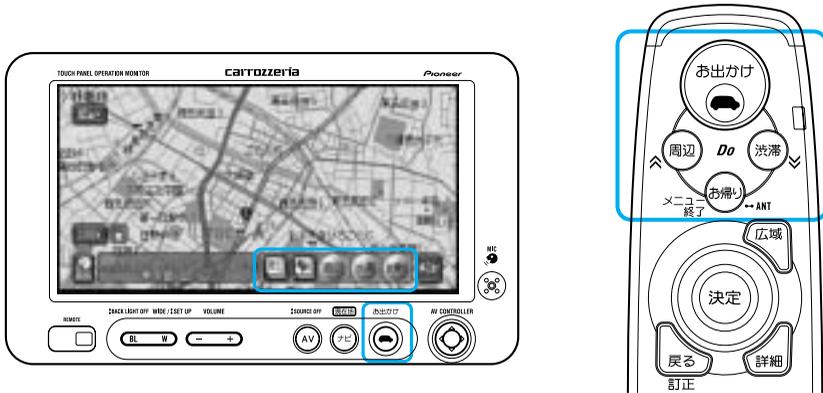
近くの施設を探そう

自宅へ帰ろう

DVD [楽ナビ] を使おう

DVD [楽ナビ] の特徴である「お出かけ」「お帰り」「周辺」「渋滞」の4つのボタンを使って、ナビゲーションを簡単に操作します。

それぞれのボタンは、TVモニターやリモコンにあります。また画面上に表示されるそれぞれのショートカットキーにタッチしても、同様に操作することができます。



「お出かけ」ボタン (P43)

: 「お出かけ」ボタンを押すと、お出かけメニューが表示され、色々な方法で行き先を探すことができ、目的地としてルートを探索することができます。

「渋滞」ボタン (P48)

/ (渋滞) : ルート案内中は、**機能設定** の **渋滞チェック表示** が **地図** の場合、「渋滞ボタン」でルート上の醜態渋滞情報を地図と音声で確認することができます。



- お買い上げ時、**渋滞チェック表示** は、**地図** に設定されています。
- ルート案内していないときは、 にタッチまたは「渋滞」ボタンを押しても、“ブツ”と音になり、渋滞情報は確認できません。
- 渋滞情報には、VICS情報の図形情報とピーコンによる図形情報があります。
- 文字情報は、ルート有り無しにかかわらず表示されません。

「周辺」ボタン (P50)

/ (周辺) : 「周辺」ボタンでは、自車周辺約8 km四方またはルート周辺前方両側約200 m以内にあるお店や情報を施設別にリスト表示し、行き先や立ち寄り地として設定することができます。

お好み周辺検索タッチキー (P53)

: お好み周辺検索タッチキーは、 または「周辺」ボタンと同じ機能ですが、あらかじめ登録した2グループ(各3施設まで)までの施設だけを検索することができます。

「お帰り」ボタン (P56)

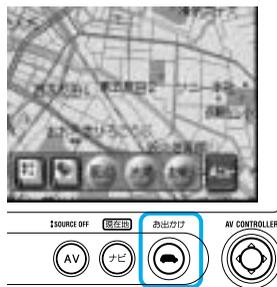
/ (お帰り) : 自宅を登録しておけば、「お帰り」ボタンを使って、全国どこからでも簡単に自宅までのルート案内を行うことができます。

「お出かけ」ボタンで行き先を探そう

 「お出かけ」ボタンを押すと、お出かけメニューが表示され、色々な方法で行き先を探ることができます。目的地としてルートを探索することができます。



- 1 TVモニターまたはリモコンの 「お出かけ」ボタンを押す
行き先を探すためのお出かけメニューが表示されます。



 これ以降の操作は、音声操作で行うこともできます。音声操作については、「音声操作を覚えよう」(P57)を参照してください。詳しくは『ナビゲーションブック』の「音声操作」を参照してください。

DVD「楽ナビ」をお使いの方、「お出かけ」ボタンで行き先を探そう

「お出かけ」ボタンで行き先を探そう

2 行き先を探す方法（検索方法）を選ぶ
選んだ行き先を探す方法の、それぞれ最初の画面が表示されます。

お出かけメニューには、いろいろな行き先を探す方法があります。ここでは例として「ジャンル」で探す方法で説明していきます。



📌 「ジャンル」以外の方法で行き先を探す場合は、『ナビゲーションブック』を参照してください。

お出かけメニューで利用できる検索方法

住所

行き先の住所を入力して検索します。

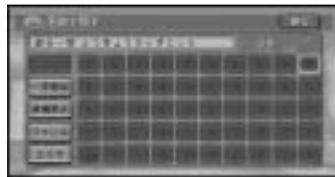
例：東京都港区赤坂1 - X - X



名称

行き先の名称をひらがなで入力して検索します。ジャンルやエリアを指定して検索することもできます。

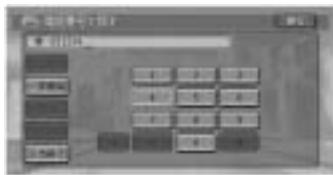
例：とうきょうでいずにいらんど



電話番号

行き先の電話番号を入力して検索します。

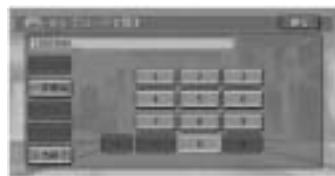
例：031234XX00



マップコード

マップコードを入力して該当する地図から検索します。

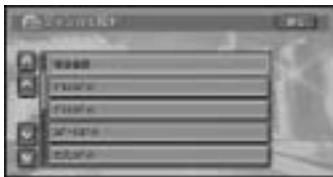
例：10203040



ジャンル

行き先のジャンル（交通機関、公共施設など）から検索します。

例：交通機関、公共施設



登録した場所（登録されている場合）

登録してある場所から検索します。日付順や自転車位置に近い順、よみなどで登録地を検索することもできます。

例：ユカリさんの家



最近探した場所（場所がある場合）

今までに検索した場所の履歴から検索します。日付順や自転車位置に近い順で検索することもできます。

例：月～金

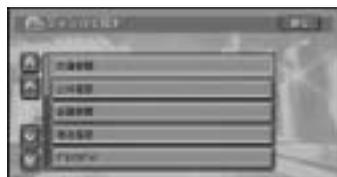


自宅（登録されている場合）

自宅を行き先として検索します。



3 ジャンル（またはエリア）を選ぶ
行き先をジャンルで探して決めるには、大きな分類から小さな分類へと、表示される検索リストからジャンルや施設を選びます。表示が切り替わりますので、上記手順を繰り返し、検索結果のリストを表示します。



4 選んだジャンルの所在地を選ぶ
都道府県リストなどが表示されますので、上記手順を繰り返し、検索結果を表示します。



5 ・にタッチするか、ジョイスティックを上下に倒して候補の施設を選ぶ
選んだ施設の周辺付近の地図が画面右側に表示されます。



6 施設（行き先）を選ぶ
選んだ候補が画面全体に地図表示され、ショートカットメニューが表示されます。



「お出かけ」ボタンで行き先を探そう

- 7** **ここへ行く** を選ぶ
ルート探索が開始されます。



- ヒント**
- ショートカットメニューの詳しい使いかたについては、『ナビゲーションブック』の「メニュー操作」を参照してください。
 - ルート探索中は、右の画面が表示され、探索が終了すると探索結果の画面が表示されます。



- 8** **案内開始** を選ぶ
行き先までのルートが設定されると、設定ルートは明るい緑色で表示されます。(細街路はピンク色、有料道路は明るい青色で表示されます。)



- ヒント** ルートの探索結果画面の詳しい使いかたについては、『ナビゲーションブック』を参照してください。

- 9** 車を発進させる
パーキングブレーキを解除して走行を始めると、ルート案内が始まり、目的地付近に到着すると自動的に終了します。

- !**
- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。
 - 実際の交通規則に従って走行してください。
 - 設定したルートは、本機の電源をOFFにしても記憶しています。
 - 案内中のルートを消去したいときは、現在地画面から **メニュー** **ルート編集** **ルート消去** **はい** の順に操作します。

ルート案内中の画面

目的地まで誘導させるルートが設定されている場合に表示されます。

ルート

設定したルートは、一般道路は明るい緑色（細街路はピンク色、有料道路は明るい青色）で表示されます。

ルートインフォメーション

2つ先までの案内地点の距離、進行方向、次の案内地点の交差点名称が表示されます。

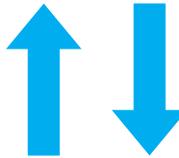
目的地の方向
現在地と目的地
を結んだ線。



目的地までの道のり距離と
到着予想時刻

現在地画面

交差点から離れる
と現在地画面に戻
ります。



交差点に近づく
と交差点案内画面
が変わります。

交差点案内画面

ドライバーズビュー

メモリーナビモード時は、拡大図となります。

レーン案内表示

レーンごとの進行方向が表示されます。



ランドマーク
信号や目印になるお店
などが表示されます。

ウィンドウマップ

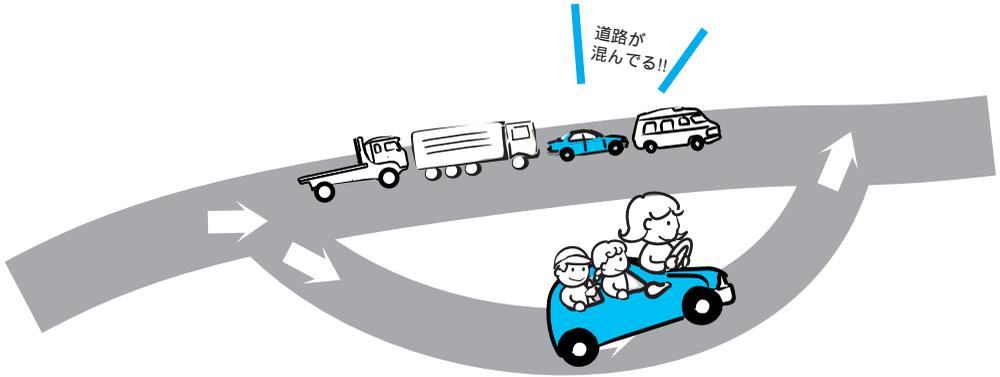
ノーマルビューの地図が表示されます。

 ルートインフォメーションにタッチすると案内地点をガイド音声で案内します。詳しくは、『ナビゲーションブック』の「ルート案内の開始」を参照してください。

「渋滞」ボタンで渋滞情報を確認しよう

「渋滞」ボタンでは、ルートが設定されている場合、ルート上の渋滞情報（VICS）をレベル3（地図）とガイド音声で確認することができます。

 VICSに関して、詳しくは『ナビゲーションブック』を参照してください。



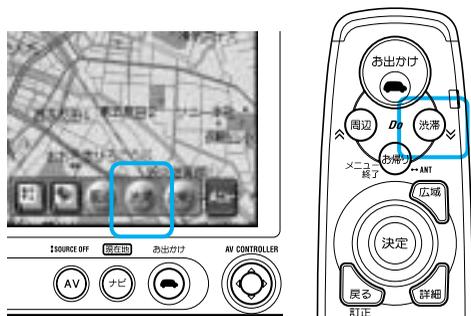
ルート案内中に渋滞情報を確認しよう

ルート案内中の渋滞表示は、受信した渋滞情報（VICS渋滞情報含む）を地図に上書き表示するレベル3（地図）となります。ルート案内中に「渋滞」ボタンを使うと、ルート上の渋滞情報をレベル3（地図）で確認することができます。

-  ・ルート案内していないときは、 にタッチまたは「渋滞」ボタンを押しても、“ブツ”と音となり、渋滞情報は確認できません。
- ・ **メニュー** **サブメニュー** **各種の設定をする** **機能設定** **渋滞チェック表示** で **図形** を選ぶと、レベル2（図形）表示で確認することができます。
 - ・ メモリーナビモード時は、レベル2（図形）となります。
 - ・ 機能設定メニューの **VICS・FM多重** の設定で **渋滞チェック表示** を **図形** に設定すると、ルート案内中でない場合でも「渋滞」ボタンで渋滞情報を表示させることができます。詳しくは『ナビゲーションブック』を参照してください。
 - ・ VICS渋滞情報やレベル3（地図）、レベル2（図形）に関しては、『ナビゲーションブック』を参照してください。

「渋滞」ボタンで渋滞情報を確認しよう

1  にタッチするか、リモコンの「渋滞」ボタンを押す



現在の自転車位置が右画面に、ルート上の渋滞情報が左画面に表示されます。



-   にタッチまたは「渋滞」ボタンを押すたびに、ルートの先の渋滞情報を表示することができます(最大5箇所まで)。
- 表示される情報とともに、音声により渋滞の距離や通過時間などの情報をお知らせします。
 - 渋滞情報がないときまたは渋滞情報を受信していないときは、“この先しばらく渋滞情報はありません”とアナウンスされます。
 - 受信したVICS情報は、本機の電源をOFFにするか受信後30分以上経過すると消去されます。

この画面の見かた

赤色の矢印 : 渋滞の状態を示します(一般道路: 白い縁どり、有料道路: 青い縁どり)。

オレンジ色の矢印 : 混雑の状態を示します(一般道路: 白い縁どり、有料道路: 青い縁どり)。

明るいブルーの矢印 : 順調であることを示します(一般道路: 白い縁どり、有料道路: 青い縁どり)。

渋滞情報の便利な使いかた

渋滞情報を確認して、ルートを変更することができます。

レベル3の渋滞チェック画面で **メニュー** を選び、ショートカットメニューを表示させ、**別ルート** を選んで、ルート探索を行います。詳しくは『ナビゲーションブック』を参照してください。

-  自車がルート上にいない場合、**別ルート** は選ぶことができません。

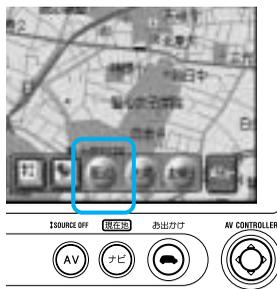
「周辺」ボタンで近くの施設を探そう

「周辺」ボタンでは、自車周辺約8 km四方またはルート周辺前方両側約200 m以内にあるお店や情報を施設別にリスト表示し、行き先や立ち寄り地として設定することができます。



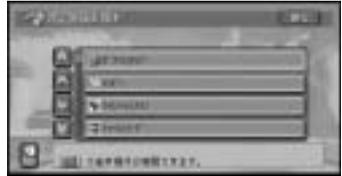
 スクロール中は、カーソル位置周辺約8 km四方の検索となります。

- 1  にタッチするか、リモコンの「周辺」ボタンを押す
ジャンルを選ぶための周辺検索リストが表示されます。周辺検索リストから、表示したい周辺の施設を選びます。



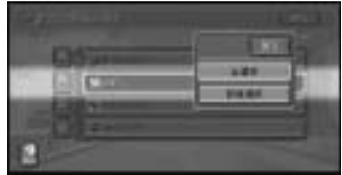
 これ以降の操作は、音声操作で行うこともできます。音声操作については、「音声操作を覚えよう」(P57)を参照してください。詳しくは『ナビゲーションブック』の「音声操作」を参照してください。

2 表示したい施設を選ぶ
 選んだ施設をさらに詳細に絞り込む（チェーン店など）ためのリスト画面が表示されます。



1 選んだ施設に詳細な分類がない場合は次の手順の画面は表示されません。手順4に進んでください。

3 **全選択** を選ぶ
 選んだ施設に該当する情報がある場合、施設をさらに詳細に絞り込んでいきます。
 検索の結果がリスト表示されます。



1 周辺に選んだ施設がない場合は、「この周辺のデータがありません」とメッセージが表示されます。

4 ・ にタッチするか、ジョイスティックを上下に倒して候補の施設を選ぶ
 選んだ施設が画面右側に表示されます。



1 リストは、自車位置あるいはカーソル位置から近い順に表示されます。

5 施設名にタッチするか、「決定」ボタンを押す
 選んだ候補が画面全体に地図表示され、ショートカットメニューが表示されます。



6 **ここへ行く** を選ぶ
 ルート探索が開始されます。



1 ショートカットメニューの詳しい使いかたについては、『ナビゲーションブック』の「メニューの操作」を参照してください。

「周辺」ボタンで近くの施設を探そう

7 案内開始を選ぶ

行き先までのルートが設定されると、設定ルートは明るい緑色で表示されます。(細街路はピンク色、有料道路は明るい青色で表示されます。)



 ルートの探索結果画面の詳しい使いかたについては、『ナビゲーションブック』を参照してください。

8 車を発進させる

パーキングブレーキを解除して走行を始めると、ルート案内が始まり、目的地付近に到着すると自動的に終了します。

-  安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。
- 実際の交通規則に従って走行してください。

-  案内中のルートを消去したいときは、現在地画面から **メニュー** **ルート編集** **ルート消去** **はい** の順に操作します。
- 検索したジャンルのロゴマークが地図上に表示されます。ロゴマークを消したいときは、 または「周辺」ボタン **結果消去** の順に操作します(本機の電源をOFFにしても消えます)。

お好み周辺検索タッチキーを使う

  お好み周辺検索タッチキーは、 または「周辺」ボタンと同じ機能ですが、あらかじめ登録した2つのグループ（各3施設まで）の施設だけを検索することができます。



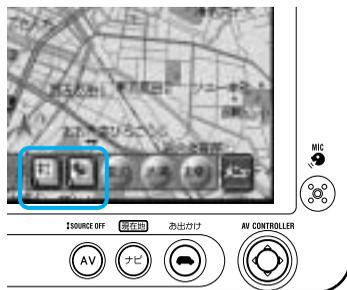
- お好み周辺検索タッチキーには、あらかじめ次の施設が登録されています。
 -  : トイレ、ガソリンスタンド、コンビニ（トイレ関係）
 -  : ファミリーレストラン、ファーストフード、コンビニ（食事関係）
- お好み周辺検索タッチキーに登録されている施設は、お好みに応じて替えることができます。詳しくは、『ナビゲーションブック』を参照してください。

お好み周辺検索タッチキーを使う

お好み周辺検索タッチキーで周辺を検索して、ルート探索しよう

お好み周辺検索は、自転車の現在位置やルート周辺で登録してある施設を検索することができます。

- 1** 周辺検索したい にタッチする
選んだ施設でお好み周辺検索が実行され、検索結果画面が表示されます。



- 2** 施設を選ぶ



最も近い施設が表示されますが、他の施設を選ぶことができます。

次の施設：次に近い施設を表示します。

前の施設：ひとつ前に表示した施設を表示します。

自転車周辺：ルート案内中でルート沿いに施設がある場合に、自転車周辺検索を行います。

ルート周辺：自転車周辺検索を行った場合に表示され、ルート周辺検索を行います。

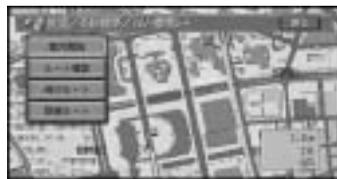
- 3** ショートカットメニューの **ここへ行く** を選ぶ
ルート探索が開始されます。



- すでにルート案内中で、立ち寄り地が5件未満のときは、**ここへ立寄る** を選ぶことができ、行き先はそのまま立ち寄り地として、選んだ施設を設定することができます。
- ショートカットメニューの詳しい使いかたについては、『ナビゲーションブック』の「メニューの操作」を参照してください。

4 案内開始 を選ぶ

行先までのルートが設定されると、設定ルートは明るい緑色で表示されます。(細街路はピンク色、有料道路は明るい青色で表示されます。)



 ルートの探索結果画面の詳しい使いかたについては、『ナビゲーションブック』を参照してください。

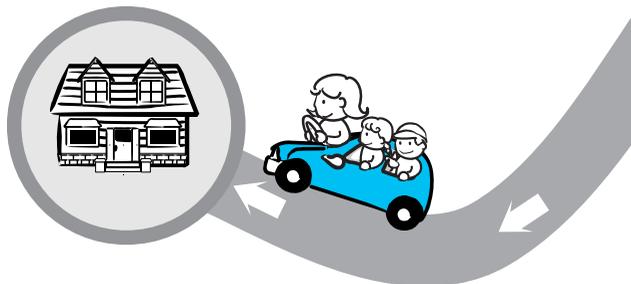
5 車を発進させる

パーキングブレーキを解除して走行を始めると、ルート案内が始まり、目的地周辺に到着すると自動的に終了します。

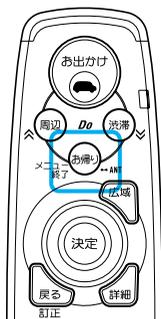
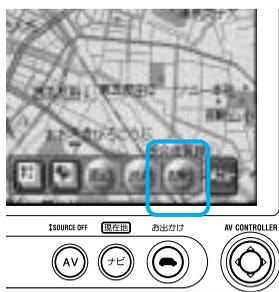
-  安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。
- 実際の交通規則に従って走行してください。
-  案内中のルートを消去したいときは、現在地画面から **メニュー** **ルート編集** **ルート消去** **はい** の順に操作します。
- 検索したジャンルのロゴマークが地図上に表示されます。ロゴマークを消したいときは、 または「周辺」ボタン **結果消去** の順に操作します(本機の電源をOFFにしても消えます)。

「お帰り」ボタンで自宅へ帰ろう

自宅を登録しておけば、「お帰り」ボタンを使って、全国どこからでも簡単に自宅までのルート案内を行うことができます。



1  にタッチするか、リモコンの「お帰り」ボタンを押す



自宅までのルート探索が開始され、終了すると自動的に案内が開始されます。

 他の目的地にルート案内中の場合は、確認のメッセージが表示されます。 **はい** を選ぶと、自宅までのルート探索を開始します。

2 車を発進させる

パーキングブレーキを解除して走行を始めると、ルート案内が始まり、目的地付近に到着すると自動的に案内を終了します。

-  安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。
- 実際の交通規則に従って走行してください。

 案内中のルートを消去したいときは、現在地画面から **メニュー** **ルート編集** **ルート消去** **はい** の順に操作します。

音声操作を覚えよう

音声で、ナビゲーションを操作したりAV機能を操作することができます。

 詳しくは、『ナビゲーションブック』の「音声操作」を参照してください。

音声操作の基本

音声操作上の注意点

音声操作を行うには、発話を正しく認識させる必要があります。
そのために、以下の点に注意してください。

- 車の窓は閉めておく
- エアコンの風量を下げる
- はっきりと明瞭に発話する
- 音声認識語を正しく発話する
- 音声案内中は発話しない



-  ・ナビゲーションのメニューを表示しているときなどは、音声操作を受け付けられない場合があります。
- TVモニターの設置位置などにより、TVモニター内蔵のマイクでは音声認識しにくい場合は、音声認識用マイク「CD-VM10」(別売)をお使いください。
 - パイオニア製ミュート端子付きカーステレオをお使いの場合は、発話の際、自動的に音量を下げることができます。
 - AVIC-DRV150の場合、モニター収納時は音声操作はできません。

発話するタイミング

発話するときは、“ピッ”と音が鳴って画面のキャラクターが、マイクを差し出してから発話してください。通常の姿勢（マイクを差し出していない状態）のときは、にタッチするか、「発話」ボタンを押すと、発話できる状態になります。

この状態のとき発話してください。



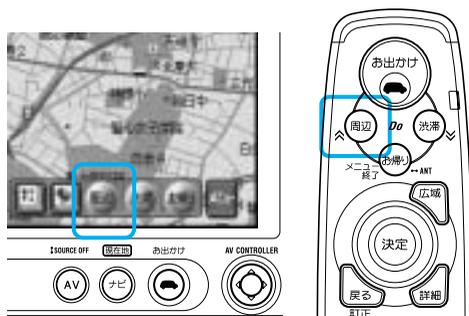
この状態のときは、発話しても認識されません。



音声でナビゲーションを操作してみよう

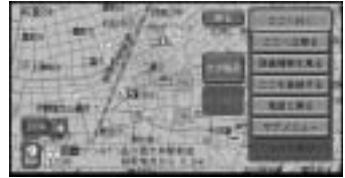
場所の検索、基本操作、ルート操作、VICS情報操作、AV操作などを行うことができます。お出かけメニューや周辺メニューなどの音声操作が可能なメニューを開いたとき、またはにタッチするか、「発話」ボタンを押したときに音声による操作ができます。ここでは、「周辺」メニューを表示させて、コンビニを検索する方法を例に説明します。

- 1 にタッチするか、リモコンの「周辺」ボタンを押す
周辺メニューが表示され、音声で操作できる状態になります。



- ・音声認識語の表示については、『ナビゲーションブック』の「音声操作」を参照してください。
- ・にタッチするか、「発話」ボタンを押して、“周辺”と発話しても周辺メニューを表示させることができます。また音声操作が可能なメニューでは、機能設定の **メニュー音声操作** で音声操作を自動にするか手動にするか切り替えることができます。

- 2 “ピッ”と音が鳴ったら、“コンビニ”(音声認識語)と発話する
指定した操作が実行されます。



 本機が認識できる音声認識語については、『ナビゲーションブック』の「音声操作」を参照してください。

 「戻る」ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

次の音声認識語を覚えると便利です。

“違う”：発話した内容と操作が違うときに“違う”と発話すると、直前の画面に戻り、次の発話待ちの状態になります。

“中止する”：音声操作を中止したいときに“中止する”と発話します。

“現在地”：ナビゲーション画面を現在地の表示に戻りたいときに、“現在地”と発話します。

“ボイスヘルプ”：音声操作のヘルプ画面を表示したいときに“ボイスヘルプ”と発話します。

AV編

テレビ/VTR・CD/MP3・DVD



近くの施設を探そう

周辺



渋滞情報を確認しよう

渋滞



自宅へ帰ろう

お帰り



AV編

テレビ/VTRを見る

CD/MP3ディスクを聴く

DVDビデオを見る

AVソースをONにする/OFFにする

安全走行のために

本機は、安全のため走行中にテレビやDVDビデオなどの映像を見ることができないようになっています。また、走行中は画面表示の各種設定・調整は一部できません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけ、操作してください。

AVソースをONにする

ナビゲーションの映像のときにAVソース（CD/MP3、DVDビデオ、テレビ、VTR）をONにします。

- 1 TVモニターやリモコンの「AV」ボタンを押す

AVソースがONになり、映像と音声はAVソースに切り替わります。

ナビゲーション画面



AVソース画面(例:TV)



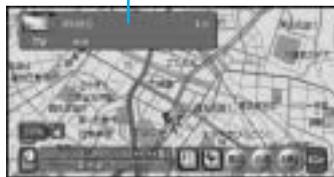
一時的にナビゲーション画面にする

- 1 TVモニターやリモコンの「ナビ」ボタンを押す

AVソースの音声はそのまま、画面表示だけ、ナビゲーションになります。

-  ナビゲーション画面のときに各ソースの状態を見たい場合は、を押すとナビゲーション画面上部にソース状態を確認できるプレートが表示されます。もう一度を押すと消えます。

プレート(例:TV)



AVソースの音声出力について

本機のテレビ/VTRおよびCD/MP3/DVDビデオ(AVIC-DR100を除く)などのAVソースの音声は、

- モニター内蔵のスピーカー
- FMトランスミッター
- 音声出力(IP-BUS形状)
(AVIC-DR100を除く)

から出力可能です。

モニター内蔵のスピーカー

AV機能設定(P 89)の **モニタースピーカーAV音声出力** でON/OFFできます。出荷時はONに設定されています。

FMトランスミッター出力

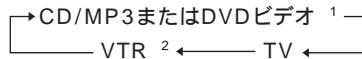
AV機能設定(P 89)の **FMトランスミッター** でON/OFFできます。出荷時はOFFに設定されています。

音声出力(IP-BUS形状)

音声出力は常に出力されています。メインユニットのAUX入力設定をONにしてメインユニットをAUXソースに切り替えてください(詳しくは、『メインユニットの取扱説明書』を参照してください)。

AVソースを切り替える

TVモニターやリモコンの「AV」ボタンを押すごとに、以下のようにソースが切り替わります。



- 1 CD/MP3/DVDビデオディスクが挿入されていない場合は、切り替わりません。
- 2 **AV機能設定** でVTRをONにしないと、VTRには切り替わりません。「AV機能設定を行う」(P89)



選択したAVソースは、本機の電源をOFFにしても記憶しています。

AVソースをOFFにする(ナビゲーションに戻る)

- 1 TVモニターやリモコンの「AV」ボタンを長く押し続ける
AVソースがOFFになりナビゲーション画面に戻ります。

テレビ/VTRを見る

基本的なテレビの見かた

この操作をしていただくだけで、テレビを見ることができます。

5 停車中でパーキングブレーキがかかっているときは、TVモニターでテレビ映像を見られます。走行中は安全のためにTVモニターには、テレビ映像は表示されません(リアモニターには表示されます)。

AVソースをテレビに切り替える

1 TVモニターやリモコンの「AV」ボタンを押して、ソースを[TV]に切り替えるプリセットチャンネル選択画面が表示されます。表示されていない場合は画面にタッチします。

放送局名 現在選局中のチャンネル



ステレオ / 音声多重放送表示

5 走行中は、安全のためにTVモニターには、テレビ映像は表示されません(リアモニターには表示されます)。
• **⊙**や「決定」ボタンを押してもチャンネルリストを表示することができます。

テレビをOFFにする(ナビゲーションに戻る)

1 TVモニターやリモコンの「AV」ボタンを2秒以上押す
ナビゲーション画面に戻ります。

5 テレビをOFFにして、他のAVソースに切り替えるときは、「AV」ボタンを短く押します。

チャンネルリストで放送局を選ぶ

チャンネルリストで確認しながら選局できます。チャンネルリストは、約8秒間何も操作しないと自動的に消えます。再度表示させたいときは、画面にタッチします。

- 1 テレビ映像のときに、画面にタッチする
- 2 放送局名(またはチャンネル)を選ぶ
選んだチャンネルの映像が表示されます。



チャンネルリストを消すときは、「戻る」を選びます。

- 5**
- 地図ディスクに記録された自転車位置付近の放送局と、オートチャンネルプリセットで記憶された放送局が、チャンネル順に表示されます。
 - 表示されたすべての放送局が受信可能とは限りません。
 - 画面には、5チャンネル分のチャンネルリストが表示されます。6チャンネル目以降のチャンネルリストを表示させるには、**⏪**または**⏩**にタッチするか、「周辺」ボタンまたは「渋滞」ボタンを押します。
 - ステレオ放送を受信した場合は、[STEREO]が表示され、音声多重放送を受信した場合は、[BILINGUAL]が表示されます。
 - トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさえぎられやすい場所や電波の弱い地域では、テレビの映りが悪くなる場合があります。
 - 走行中にテレビの映像を見ることはできませんが、チャンネルを選局することはできます。(音声を聞くこともできます。)

その他の選局方法

お好みに応じて、次の方法で選局することができます。

映像を確認しながら選ぶ

チャンネル番号だけを画面に表示し、映像を確認しながら選局できます。

1 リスト小 を選ぶ



リスト大 を選ぶと、元のチャンネルリストを表示することができます。

プリセット番号で選ぶ

プリセット番号(1~12)に記憶した放送局を呼び出して選局できます。

1 リスト切替 を選ぶ



2 呼び出したいプリセット番号を選ぶ



もう一度 **リスト切替** を選ぶと、元のチャンネルリストを表示することができます。

映像を表示させたままで放送局を選ぶ

ナビゲーション画面またはテレビの映像(停車中のみ)を表示させたままで選局できます。

1 を上下に倒す

プリセットチャンネルが順番に送られます。

	次のプリセットチャンネルを選ぶとき
	前のプリセットチャンネルを選ぶとき

- テレビ映像のときは、ジョイスティックを上下に倒して操作することもできます。
- 地図ディスクに記録された自車位置付近の放送局と、オートチャンネルプリセットで記憶された放送局が、プリセットチャンネル順に表示されます。
- 表示されたすべての放送局が受信可能とは限りません。

その他の選局方法

お好みに応じて、次の選局方法を選ぶことができます。

チャンネルを順番に選ぶ

チャンネル順に選局できます。

- 1  を左右に倒す
チャンネルが順番に送られます。

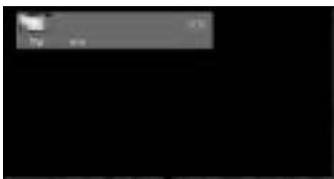
	前のチャンネルを呼び出すとき
	次のチャンネルを呼び出すとき

 テレビ映像のときは、ジョイスティックを左右に倒して操作することもできます。

受信できるチャンネルを自動的に探す (SEEK)

現在受信できる放送局を、自動的に選局できます。

- 1  を左右に長く倒す
受信できるチャンネルを探します。



 テレビ映像のときは、ジョイスティックを左右に長く倒して操作することもできます。

放送局を記憶する

現在受信できる放送局を探して、自動的に記憶することができます。(オートチャンネルプリセット)

- 1 テレビ映像のときに画面にタッチする
- 2 **オートチャンネルプリセット** にタッチし続ける



現在受信可能な放送局が自動的にプリセットチャンネルに記憶されます。

 テレビ映像のときは、リモコンの「決定」ボタンを押し続けて操作することもできます。

プリセット番号への記憶

お好みで選局した放送局を、プリセット番号（1～12）へ記憶することができます。

1  でチャンネルを選ぶ



2 画面にタッチしてチャンネルリストを表示する



3 **リスト切替** にタッチする



4 記憶させたいプリセット番号にタッチし続ける

選んだプリセットチャンネル番号に、手順1で選局した放送局が記憶されます。



音声多重放送の音声を切り替える

音声多重放送（2カ国語放送）を受信しているときは、主音声と副音声を切り替えることができます。

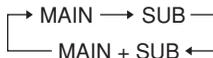
 音声多重放送の場合は、一般的に主音声を日本語、副音声を外国語で放送していますが、逆の場合もあります。

1 **音声多重切替** を選ぶ



音声が変わります。

音声多重切替 にタッチするごとに、以下のように切り替わります。



MAIN	主音声
SUB	副音声
MAIN + SUB	主・副音声

VTRを見る

VTRソースに切り替えて、VTRの映像を見ます。



- VTRの映像を表示させるには、AV機能設定の **VTR・バックカメラ入力設定** (P 8 9) で、**VTR** に設定する必要があります。
- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときは、TVモニターでVTRの映像を見られます。走行中は安全のためにTVモニターには、VTRの映像は表示されません。

1

TVモニターやリモコンの「AV」ボタンを押して、ソースを[VTR]に切り替えるビデオ画面が表示されます。



走行中は、安全のためにTVモニターには、VTRの映像は表示されません。

CD/MP3ディスクを聴く (AVIC-DRV150/AVIC-DRV120)

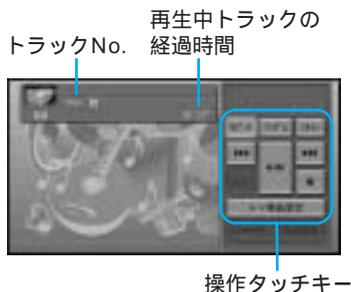
基本的なCD/MP3ディスクの聴きかた

音楽用CDやCD-ROM、CD-R/RWに記録されたMP3ファイルを聴くことができます。

1 ディスク挿入口に、タイトル面を上にしてCDまたはMP3ディスクを差し込む

- ディスクを挿入すると、音楽CDまたはMP3ディスクに切り替えるかどうかのメッセージが表示され、**はい** を選ぶと、ソースを切り替えることができます。**いいえ** を選んだ場合は、再生を開始しないでナビゲーションの画面に戻ります。
- ビデオCDなどの再生できないディスクが挿入された場合は「再生できないディスクです。」と表示されます。
- すでにディスクがセットしてあるときは、「AV」ボタンを押してCD/MP3ソースに切り替えます。

CDを入れたとき



MP3ディスクを入れたとき



- MP3では、ID3 Tag情報を取得できた場合、ディスク名¹、タイトル名²が表示されます。リスト表示は、ID3 Tag情報のあるなしに関わらず、ファイル名フォルダ名が表示されます。
- MP3ファイルのファイルNoは、フォルダごとにフォルダ内全ての曲に連番でつけられます。
- 挿入されたMP3ディスクは、自動的に内容を検索します。その間、再生まで多少時間がかかる場合があります。

MP3のディスク名、トラック名表示について

本機は、ISO9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeo (P105)に準拠して記録されたディスクに対応しています。CD-ROMモードはモード1、モード2Form1に対応しています。

ID3 Tag (P105)がある場合は、ディスク名やトラック名が画面左上のプレートに表示されます。ID3 Tagがない場合は、フォルダ名、ファイル名を表示します。リスト表示のトラック名は、MP3のファイル名、フォルダ名で表示されます。(ID3 Tagの曲名ではありません。)

- 一度に取得して表示できるタイトルは最大192曲までです。未取得となったタイトルは、再生すると取得できます。

CD/MP3ディスクを聴く

曲を選ぶ

聴きたい曲を選びます。

1  または  にタッチする

	前の曲を選ぶとき
	次の曲を選ぶとき

早戻しする場合は、 にしばらくタッチし続けます。

早送りする場合は、 にしばらくタッチし続けます。

ナビゲーション画面に切り替えたとき

 を左右に倒すと、CDのトラックを順に選曲できます。またMP3では、 を上下に倒すと、フォルダの選曲、左右に倒すとトラックの選曲を行うことができます。

-  MP3では、リスト表示を選んで聴きたい曲を選ぶことができます。
- 再生できないMP3ファイルだけのフォルダもリスト表示されます。また、再生できないMP3ファイルもリスト表示されます。再生できないファイルがあるときは、「再生ができません。ディスクを取り出してください」とメッセージが表示されます。再生できるMP3ファイルについては「MP3ファイルについて」(P 101)を参照してください。

再生を停止する

CDまたはMP3ディスクの再生を停止します。

1  を選ぶ

CD/MP3の再生をやめる

CD/MP3のディスクの再生をやめるには、以下の方法があります。

- ▲「イジェクト」ボタンを押して、ディスクを取り出す
- TVモニターやリモコンの「AV」ボタンを長く押す

 CD/MP3の再生をやめて、他のAVソースに切り替えるときは、「AV」ボタンを短く押します。

フォルダ内の曲を再生する (MP3ファイルのみ)

1 フォルダを選ぶ
フォルダ内のリストが表示されます。



元に戻るには  を選びます。

CDとMP3を切り替える

CDの中にMP3ファイルが含まれる場合、**CD/MP3** が選べるようになります。

1 **CD/MP3** を選ぶ
選ぶごとにCD操作画面またはMP3操作画面が切り替わります。



 MP3では、一度に取得して表示できるタイトルは最大192曲までです。未取得となったタイトルは、再生すると取得できます。

便利な機能

CD/MP3ディスクを聴く場合の便利な機能(リピート、ランダム、スキャン、ポーズ、詳細情報)について説明します。

同じ曲を繰り返し聴く

現在再生中の曲を、繰り返し聴くことができます(リピート再生)。

1 リピートを選ぶ



演奏中の曲を繰り返し聴くことができます。CDのリピートを取り消すには、再度 **リピート** を選びます。

MP3ディスクの場合、**リピート** を選ぶごとに、次のように切り替わります。



TRACK-REPEAT	現在再生中の曲をリピートする
FOLDER-REPEAT	現在再生中のフォルダ内をリピートする
OFF	現在再生中のディスク全体をリピートする

注意 リピート再生中に前後の曲の頭出しやトラックリストからの選曲などの操作を行うと、リピート再生は解除されます。

いつもと違う曲順で聴く

現在再生中のCDやMP3ディスクを、いつもと違う曲順で再生することができます(ランダム再生)。

1 ランダムを選ぶ



ランダムに演奏することができます。CDのランダムを取り消すには、再度 **ランダム** を選びます。

MP3ディスクの場合、**ランダム** を選ぶごとに、次のように切り替わります。



FOLDER-RANDOM	現在再生中のフォルダ内をランダムに再生する
DISC-RANDOM	現在再生中のディスク内をランダムに再生する
OFF	ランダムを取り消す

注意 FOLDER-RANDOMは、現在再生中のフォルダ内の曲だけを再生します。フォルダ内にあるフォルダは、再生しません。

CD/MP3ディスクを聴く

聴きたい曲を探す

曲の始めの部分を、約10秒間ずつ聴くことができます(スキャン再生)。

1 スキャン を選ぶ



曲の始めをスキャンします。
CDのスキャンを取り消すには、再度 **スキャン** を選びます。

MP3ディスクの場合、**スキャン** を選ぶごとに、次のように切り替わります。



TRACK-SCAN	現在再生中のフォルダ内のトラックをスキャンする
FOLDER-SCAN	各フォルダの先頭トラックをスキャンする
OFF	スキャンを取り消す

戻る スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。MP3ディスクの場合、TRACK-SCANからFOLDER-REPEATに切り替わります。

2 聴きたい曲が再生されたら、その曲名のタイトルにタッチする

戻る スキャン再生中に前後の曲の頭出しやトラックリストからの選曲などの操作を行うと、スキャン再生は解除されます。

再生を一時停止する

CDやMP3ディスクの再生を一時停止することができます(ポーズ)。

1 ▶/|| を選ぶ



一時演奏を停止することができます。
ポーズを取り消すには、再度 **▶/||** を選びます。

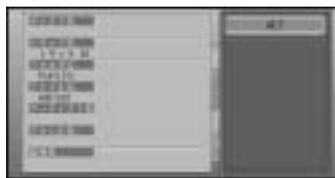
- 戻る** ポーズ中に前後の曲の頭出しを行うと、その曲の先頭で一時停止状態になります。
- MP3の場合、ポーズ中にトラックリストからの選曲を行うと、ポーズは解除されます。

再生中の曲の詳細情報を見る (MP3ファイルのみ)

MP3ファイルでは、現在再生中の曲の詳細情報を見ることができます。

1 詳細情報 を選ぶ

フォルダ名、ファイル名およびID3 Tag情報がある場合には、ディスク名、トラック名、アーティスト名、ジャンル名、発売年が表示されます。



元に戻すには、**戻る** を選びます。

DVDビデオを見る (AVIC-DRV150、AVIC-DRV120)

基本的なDVDビデオの見かた

DVDビデオの基本的な操作を説明します。

1 ディスク挿入口に、タイトル面を上にしてDVDビデオディスクを差し込む

- すでにDVDビデオディスクが挿入されている場合は、TVモニターやリモコンの「AV」ボタンを押してDVDビデオソースに切り替えます。
- ディスクを挿入すると、ソースを切り替えるかどうかのメッセージが表示され、**はい**を選ぶと、映像を切り替えることができます。**いいえ**を選んだ場合は、再生を開始しないで元の画面に戻ります。
- 両面仕様のDVDビデオディスクの場合は、A/B面をよくお確かめのうえディスクを挿入してください。
- ナビゲーションの画面からDVDビデオの画面に切り替えるには、TVモニターやリモコンの「AV」ボタンを押します。
- DVDビデオの録音レベルは他のAVソースより低いため、他のAVソースからDVDビデオに切り替えると、音が小さく感じられます。
- ディスクによっては、メニュー画面が表示されるものがあります。
「ディスクメニュー画面の操作」(P75)

DVDビデオの再生をやめる (ナビゲーションに戻る)

DVDビデオの再生をやめるには、以下の方法があります。

- ▲「イジェクト」ボタンを押して、ディスクを取り出す
- TVモニターやリモコンの「AV」ボタンを長く押す

ヒント DVDビデオの再生をやめて、他のAVソースに切り替えるときは、「AV」ボタンを短く押します。

映像を表示させたままで操作する

ナビゲーション画面またはDVDビデオの映像(停車中のみ)を表示させたまま \odot で操作することができます。

タイトルを進める/戻す

1 \odot を上下に倒す
タイトルが順に送られます。

チャプターを進める/戻す

1 \odot を左右に倒す
チャプターが順に送られます。

ヒント DVDビデオ映像のときは、リモコンのジョイスティックで操作することもできます。

操作タッチキーの表示と消しかた

DVDビデオの操作タッチキーは、再生中に画面をタッチして表示させることができます。**次頁** を選ぶと、2ページ目の操作タッチキーを表示させることができます。

操作タッチキー(1ページ目)



操作タッチキー(2ページ目)



操作タッチキーを表示させる

- 1 再生中に画面にタッチするか「決定」ボタンを押す



操作タッチキーが表示されます。

- 2ページ目の操作タッチキーを表示させるには **次頁** にタッチします。また2ページ目から1ページ目の操作タッチキーに戻すときは、**前頁** を選びます。
- ディスクメニューを表示させたい場合は、**トップメニュー** または **メニュー** を選びます。

- 2 **終了** を選ぶ
操作タッチキーが消えます。

ディスクメニュー画面の操作

 表示されるディスクメニューや操作方法は、ディスクによって異なります。

1 再生中に画面にタッチするが「決定」ボタンを押す
操作タッチキーが表示されます。

2 **トップメニュー** または **メニュー** を選ぶ



ディスクメニュー操作タッチキーが表示されます。



3 矢印にタッチしてメニュー項目を選ぶ

 ジョイスティックまたは \odot を上下左右に倒しても同様の操作ができます。この場合は、次の画面に切り替わります。



もう一度、画面にタッチするとディスクメニュー操作タッチキーが表示されます。

4 **決定** を選ぶ
項目が実行されます。

 ディスクメニュー操作タッチキーが消えないときは、**ボタン消し** にタッチします。

タイトルを進める/戻す

タイトルを次へ進めたり、ひとつ前に戻したりすることができます。

1 再生中に画面にタッチするが「決定」ボタンを押す

2 **タイトル** または **タイトル** を選ぶ
タイトルが送られます。

 再生中にジョイスティックまたは \odot を上下に倒しても同様の操作ができます。

チャプターを進める/戻す

1 再生中に画面にタッチするが「決定」ボタンを押す

2 **◀◀** または **▶▶** を選ぶ
チャプターが送られます。

 再生中にジョイスティックまたは \odot を左右に倒しても同様の操作ができます。

早送り/早戻しする

1 再生中に画面にタッチするか「決定」ボタンを押す
操作タッチキーが表示されます。

2 ◀▶ または ▶▶ に長くタッチする
タッチしている間、早送り/早戻しされます。

-  • 再生中にジョイスティックまたは⊙を左右に長く倒し続けても、同様の操作ができます。
- 4秒以上タッチすると早送り/早戻しのままになります。▶▶ を選ぶと通常の再生に戻ります。
- ディスクによって、早送りできない場所があり、その場所になると自動的に通常の再生になります。

再生を停止する

ディスクの再生を停止します。

1 再生中に画面にタッチするか「決定」ボタンを押す
操作タッチキーが表示されます。

2 □ を選ぶ

-  • 再生を停止した場所を記憶し、次にディスクを再生したときは前回の続きから再生されます(ディスクによっては続きから再生されない場合があります)。
- ディスクまたは再生位置によっては、⊙ (禁止マーク)が表示され、停止できないことがあります。

3 ▶|| を選ぶ
通常の再生に戻ります。

見たい場面をダイレクトに選ぶ

タイトル、チャプターまたは時間を指定して見たい場面を選んで再生することができます(ダイレクトサーチ)。

1 再生中に画面にタッチするか「決定」ボタンを押す
操作タッチキーが表示されます。

2 10キーサーチ を選ぶ



10キー画面が表示されます。

3 サーチモード を選ぶ



サーチモード を選ぶごとに、次のように切り替わります。

→TITLEサーチ → CHAPTERサーチ
← 10キーモード ← TIMEサーチ ←

4 番号を10キーで選ぶ

TITLEサーチ	見たい場面のタイトル番号を入力します。 入力例：タイトル番号4を検索する場合 4 を選ぶ
CHAPTERサーチ	見たい場面のチャプター番号を入力します。 入力例：チャプター番号6を検索する場合 6 を選ぶ
TIMEサーチ	見たい場面の時間を入力します。 入力例：1時間20分00秒の場面を検索する場合 8 0 分 0 秒 を選ぶ
10キーモード	数字のコマンドを入力します。 入力例： 1 2

- 収録されていないタイトル番号、チャプター番号、時間などを入力した場合は⊘(禁止マーク)が表示され、検索できないことがあります。
- 時間の入力で、**秒**は、秒2桁を入力すると選ばれます。

5 **決定**を選ぶ

指定した場面から再生を始めます。

便利な機能

再生中にいろいろな操作をすることができます。

静止画を見る

再生中の映像を一時停止して、静止画として見ることができます(静止画再生)。

- 再生中に画面にタッチするが**決定**ボタンを押す
操作タッチキーが表示されます。

- ▶||**を選ぶ
||(静止マーク)が約4秒間表示され、映像が一時停止します。



- 静止画再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、⊘(禁止マーク)が表示され、静止画再生できないことがあります。
- ▶||**を選んででも一時停止します。

3 **▶||**を選ぶ

通常の再生に戻ります。

スローで見る

再生速度を遅くして見るができます(スロー再生)。

- 1 再生中に画面にタッチするか「決定」ボタンを押す
操作タッチキーが表示されます。

- 2  を選ぶ



映像が一時停止します。

- 3  にタッチし続ける
スロー再生に切り替わります。

-  スロー再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク)が表示され、スロー再生できないことがあります。
- ディスクによっては、スロー再生時に映像が乱れることがあります。

- 4  を選ぶ
通常の再生に戻ります。

コマ送り再生で見る

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見るができます(コマ送り再生)。

- 1 再生中に画面にタッチするか「決定」ボタンを押す

- 2  を選ぶ
映像が一時停止します。

- 3  を選ぶ
選ぶごとに、映像が1コマずつ送られます。

-  コマ送り再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク)が表示され、コマ送り再生できないことがあります。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れることがあります。

- 4  を選ぶ
通常の再生に戻ります。

繰り返し再生で見る

タイトルやチャプターを繰り返し再生することができます(リピート再生)。

- 1 再生中に画面にタッチするが「決定」ボタンを押す
- 2 **次頁** を選ぶ



2ページ目の操作タッチキーが表示されます。

- 3 **リピート** を選ぶ



リピート を選ぶごとに、次のように切り替わります。

→ CHAPTER-REPEAT ←
← OFF ← TITLE-REPEAT ←

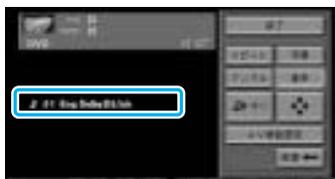
CHAPTER-REPEAT	現在再生中のチャプターをリピートする
TITLE-REPEAT	現在再生中のタイトルをリピートする
OFF	リピートしない

- 注意** ディスクまたは再生位置によっては、**禁止マーク**が表示され、リピート再生できないことがあります。

音声言語を切り替える

再生中に音声を切り替えることができます(マルチ音声)。

- 1 再生中に画面にタッチするが「決定」ボタンを押す
- 2 **次頁** を選ぶ
2ページ目の操作タッチキーが表示されます。
- 3 **音声** を選んで、音声を切り替える
音声 を選ぶごとに、音声切り替わります。



- 注意**
- この機能は、音声複数収録されている場合のみ有効です。
 - DVDのパッケージについている $\textcircled{2}$ マークの数字が、音声の収録数です。
 - ディスクによっては、DVDに収録されているディスクメニュー画面でしか切り替えることができない場合があります。
 - ディスクまたは再生位置によっては、**禁止マーク**が表示され、音声言語を切り替えることができない場合があります。

字幕言語を切り替える

再生中に字幕を切り替えることができます(マルチ字幕)。

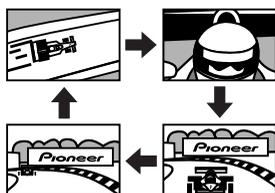
- 1 再生中に画面にタッチするが「決定」ボタンを押す
- 2 **次頁** を選ぶ
2ページ目の操作タッチキーが表示されます。
- 3 **字幕** を選んで、字幕を切り替える



- ヒント**
- この機能は、字幕が収録されている場合のみ有効です。
 - DVDパッケージについている  マークの数字が、字幕の収録数です。
 - ディスクによっては、DVDに収録されているディスクメニュー画面でしか切り替えることができない場合があります。
 - ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク)が表示され、字幕言語を切り替えることができない場合があります。

アングルを切り替える

再生中にアングルを切り替えることができます(マルチアングル)。



- 1 再生中に画面にタッチするが「決定」ボタンを押す
- 2 **次頁** を選ぶ
2ページ目の操作タッチキーが表示されます。
- 3 複数のアングルが収録されている場面を再生中に **アングル** を選ぶ
複数のアングルが収録されている場面を再生すると、アングル選択マークが表示されます。



- 4 **アングル** を選んで、アングルを切り替える
アングル選択マークが表示されている間は、アングル切り替えができます。

- ヒント**
- この機能は、アングルが複数収録されている場合のみ有効です。
 - ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク)が表示され、アングルを切り替えることができない場合があります。
 - マルチアングルが収録されたDVDパッケージには、 マークがついています。 マークの数字が、アングルの収録数です。
 - アングル選択マークの表示のON/OFFは、DVD機能設定メニューの **マルチアングル** で行います。
「アングル選択マークの表示を設定する」(P85)

ディスクに指定された位置まで戻って見る

ディスクに指定された位置まで戻って再生することができます。

- 1 再生中に画面にタッチするが「決定」ボタンを押す
- 2 **次頁** を選ぶ
2ページ目の操作タッチキーが表示されます。
- 3 **リターン** を選ぶ
ディスクの指定された位置まで戻り、再生を始めます。



 この機能は、ディスクに戻る位置の指定が収録されている場合のみ有効です。

ディスクメニュー操作タッチキーを表示する

ナビゲーション画面に切り替えて、またDVDビデオに切り替えたとき、DVDビデオの再生が終了して、ディスクメニューが表示されている場合などに、ディスクメニュー操作タッチキーを表示させてディスクメニューを操作することができます。

- 1 再生中に画面にタッチするが「決定」ボタンを押す
操作タッチキーが表示されます。
- 2 **次頁** を選ぶ
2ページ目の操作タッチキーが表示されます。
- 3  (十字矢印) を選ぶ



ディスクメニュー操作タッチキーが表示されます。

 ディスクメニューが表示される前に、画面にタッチして操作タッチキーを表示させた場合も、**次頁**  (十字矢印) の順で操作できます。

機能設定をする

DVDビデオ機能設定メニューで、各項目の機能設定をすることができます。

DVDビデオ機能設定メニューを表示する

1 再生中に画面にタッチするか「決定」ボタンを押す

2 **次頁** を選ぶ

2ページ目の操作タッチキーが表示されます。

3 **AV機能設定** を選ぶ



AV機能設定メニューが表示されます。

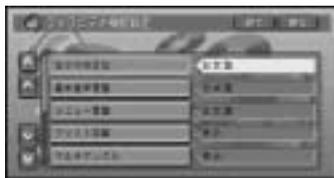
4 **↑** または **↓** を選んで、**DVDビデオ機能設定** を選ぶ



DVDビデオ機能設定が表示されます。

5 設定する項目を選び、設定する各項目の設定のしかたは、P82～P88をご覧ください。

6 **終了** にタッチする



DVDビデオ映像画面に戻ります。

- **戻る** にタッチするかリモコンの「戻る」ボタンを押すと、AV機能設定メニューに戻ります。
- リモコンの「お帰り」ボタンを押して、メニューを閉じることもできます。
- 上下のメニューを表示するには、**↑** または **↓** を選びます。

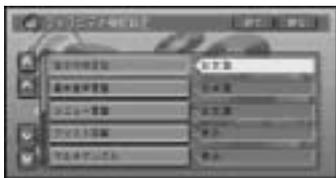
基本字幕言語を設定する

字幕として優先したい言語を設定することができます(マルチ言語字幕)。

 出荷時の設定は、日本語です。

1 DVDビデオ機能設定メニューを表示する(P 82)

2  または  を選んで、**基本字幕言語** を選ぶ



基本字幕言語設定メニューが表示されます。

3  または  を選んで、字幕として優先したい言語を選ぶ



基本字幕言語が設定されます。

-  ・選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が表示されます。
- ・再生中に画面にタッチして **次頁** を選んで表示される **字幕** で、字幕言語を切り替えることもできます。
- ・ディスクによっては、設定した基本字幕言語が優先されない場合があります。

その他 を選んだ場合

言語のコード入力画面が表示されます。「言語コード表」(P 104)より、4桁の言語コードを画面の数字を選んで入力して、**決定** を選びます。



 入力した番号を消す場合は、**訂正** を選びます。

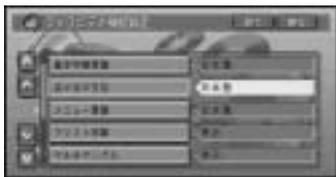
基本音声言語を設定する

音声として優先したい言語を設定することができます。

 出荷時の設定は、日本語です。

1 DVDビデオ機能設定メニューを表示する(P 82)

2  または  を選んで、**基本音声言語** を選ぶ



基本音声言語設定メニューが表示されます。

3  または  を選んで、音声として優先したい言語を選ぶ



基本音声言語が設定されます。

- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が出力されます。
- この設定には影響なく、再生中に画面にタッチし、**次頁** を選んで表示される **音声** でも、音声言語を切り替えることができます。

その他 を選んだ場合

言語のコード入力画面が表示されます。「言語コード表」(P104)より、4桁の言語コードを画面の数字を選んで入力して、**決定** を選びます。



- 入力した番号を消す場合は、**訂正** を選びます。

メニュー言語を設定する

ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語として優先したい言語を設定することができます。

- 出荷時の設定は、日本語です。

1 DVDビデオ機能設定メニューを表示する (P82)

2 **↑** または **↓** を選んで、**メニュー言語** を選ぶ



メニュー言語設定メニューが表示されます。

3 **↑** または **↓** を選んで、メニュー言語として優先したい言語を選ぶ



メニュー言語が設定されます。

- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が表示されます。

その他 を選んだ場合

言語のコード入力画面が表示されます。「言語コード表」(P104)より、4桁の言語コードを画面の数字を選んで入力して、**決定** を選びます。



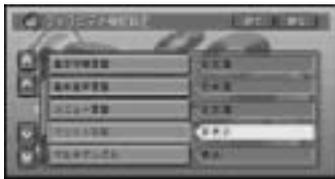
- 入力した番号を消す場合は、**訂正** を選びます。

アシスト字幕を設定する

アシスト字幕の表示/非表示を設定することができます。

ヒント アシスト字幕とは、耳の不自由な方のために場面の状況を説明する字幕です。ただし、アシスト字幕は、ディスクに収録されている場合のみ表示することができます。

- 1 DVDビデオ機能設定メニューを表示する (P 82)
- 2 または を選んで、**アシスト字幕** を選ぶ



- 3 **表示** または **非表示** を選ぶ



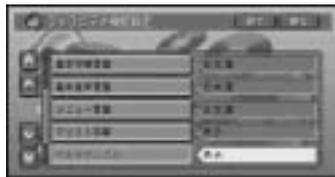
アシスト字幕の表示/非表示が設定されます。

アングル選択マークの表示を設定する

マルチアングル収録されたディスクで、アングル切り替えができる場面を再生している間に表示する、アングル選択マークのON/OFFを切り替えることができます。

ヒント 出荷時の設定は、ONです。

- 1 DVDビデオ機能設定メニューを表示する (P 82)
- 2 または を選んで、**マルチアングル** を選ぶ



- 3 **表示** または **非表示** を選ぶ



アングル選択マークの表示/非表示が設定されます。

テレビアスペクト(画面の縦横比)を設定する

組み合わせるテレビに合わせて設定します。

 出荷時の設定は、16:9です。

1 DVDビデオ機能設定メニューを表示する (P82)

2  または  を選んで、**テレビアスペクト** を選ぶ



3 テレビアスペクトの項目を選ぶ



16:9	ワイドモニター(16:9) 使用時に選びます。 16:9で収録された画像が16:9で表示されます。
レターボックス	ノーマルモニター(4:3) 使用時に選びます。 16:9で収録された画像の横巾を4:3モニターの横巾に合わせて16:9の比率で表示します。
パンスキャン	ノーマルモニター(4:3) 使用時に選びます。 16:9で収録された画像の縦巾を4:3モニターの縦巾に合わせて16:9の比率で表示します(左右にはみ出た映像は表示されません)。

選んだテレビアスペクトが設定されます。

-  ・本機のモニターはワイドモニターですので、通常は **16:9** に設定してお使いください。リアモニターにノーマルモニターを接続した場合でアスペクト比をリアモニターに合わせたい場合のみ設定を変えてください。
- ・パンスキャン指定されていないディスクを再生したいときは、**パンスキャン** に設定してもレターボックスでの再生になります。ディスクのパッケージなどで **16:9 LB** マークを確認してください。
 - ・ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳細は、ディスクの説明書を参照してください。

視聴制限を設定する

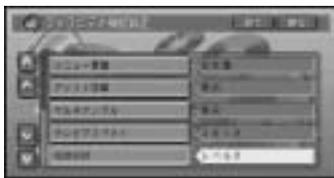
ディスクによっては、成人向けの内容や、暴力シーンなど子供に見せたくない場面に視聴制限をすることができます(パレンタルロック)。

- 最初にご使用になるときは、暗証番号を設定してください。視聴制限は、暗証番号の登録がないと操作できません。
- 出荷時の設定は、レベル8です。
- 視聴制限されたディスクを再生しようとしたときに、暗証番号の入力画面が表示されることがあります。この場合は、正しい暗証番号を入力しないと再生できません。暗証番号の入力画面を解除するには、**戻る**を選んでください。
- ディスクのパッケージに視聴制限レベルが記載されていないディスクは、レベル設定しても視聴制限はかけられません。
- 視聴レベルは、ディスクに記憶されています。ディスクのパッケージなどをご確認ください。

暗証番号とレベルの設定

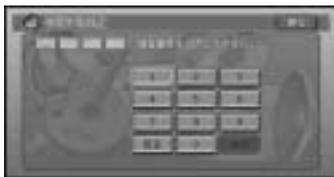
1 DVDビデオ機能設定メニューを表示する (P 82)

2 **視聴制限** を選ぶ



視聴制限設定画面が表示されます。

3 画面の数字で、4桁の暗証番号を選ぶ



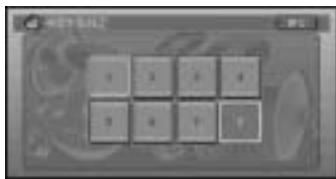
登録した暗証番号は、忘れないようにメモしておくことをお勧めします。

4 **決定** を選ぶ



暗証番号が設定され、レベルの設定ができるようになります。

5 画面の数字で、レベルを選ぶ



レベル8	ディスクをすべて再生する
レベル7~2	成人向けのディスクの再生を禁止する(子供向けや一般向けディスクを再生する)
レベル1	子供向けのディスクのみ再生する

視聴制限のレベルが設定されます。

レベルを変更する

設定した視聴制限のレベルを変更することができます。

1 DVDビデオ機能設定メニューを表示する (P82)

2 **視聴制限** を選ぶ
視聴制限設定画面が表示されます。

3 画面の数字で、登録してある暗証番号を選ぶ



4 **決定** を選ぶ
レベルの設定ができるようになります。



- 入力した暗証番号が間違っていると、「パスワードが違います。もう一度入力してください。」が表示されます。この場合は、**訂正** を選んで、正しい番号を入力し直してください。
- 暗証番号を忘れた場合は、「暗証番号を忘れたときは」を参照してください。

5 画面の数字で、レベルを選ぶ
変更した視聴制限のレベルが設定されます。

暗証番号を忘れたときは

「レベルを変更する」の手順3で **訂正** を10回選び、暗証番号が解除されたら、新しい暗証番号を登録します。

AV機能設定を行なう

AVソースに関連した機能設定を行なうことができます。

設定のしかた

1 AV機能設定を選ぶ



AV機能設定メニューが表示されます。

トイ AV機能設定は、AVソース(P62)のときに表示されます。AV機能設定が表示されていないときは、画面にタッチしてください。

2 上または下を選んで、設定する項目を選ぶ

選んだ項目によってはさらに詳細な設定の項目が表示されます。



トイ 上下のメニューを表示するには、**上**または**下**を選びます。

3 各項目を設定して終了を選ぶ



トイ リモコンの「お帰り」ボタンを押して、メニューを閉じることもできます。

各設定項目

FMトランスミッター

オーディオの音声をFM付きカーステレオに飛ばすかどうかを設定します。

ON オーディオの音声をFM付きカーステレオに飛ばします。

OFF オーディオの音声をFM付きカーステレオに飛ばしません。

周波数 - + FM波の周波数を76.4 MHz ~ 78.4 MHzより設定します。

レベル - + 音声出力のレベルを±6より設定します。

消音タイミング

本機の操作時、オーディオの音声を消すかどうか、またそのタイミングを設定します。

ガイド・音声認識時 ナavigーションのガイド、または音声認識の操作が行なわれた時点で、オーディオの音声を一時的に消します。

音声認識時 音声認識の操作が行なわれた時点で、オーディオの音声を一時的に消します。

OFF オーディオの音声は、消しません。

ナビ画面リアモニター出力 (AVIC-DRV150/AVIC-DRV120)

AVソースOFF時にリアモニターにナビゲーション画面を出力するかどうかの設定を行います。

ON リアモニターに出力します。

OFF リアモニターに出力しません。

VTR・バックカメラ 入力設定

映像入力端子をどの映像で使用するかを設定します。

VTR 入力端子をVTR映像で使用します。

バックカメラ 入力端子をバックカメラ映像で使用します。

OFF 入力端子を使用しない、または映像を表示しません。

AV機能設定を行なう

バックカメラ極性設定

バックカメラ接続時に、車両のバック信号の極性に合わせて設定します。

Hi(バッテリー) バックにギアを入れたときに、バック信号線の電圧がHiとなる車両の場合に選択します。

Low(グラウンド) バックにギアを入れたときに、バック信号線の電圧がLowとなる車両の場合に選択します。

 必ずバック信号入力線(紫/白)を接続してください。バック信号線の極性は、ナビゲーションの接続状態画面の「バック信号」で確認できます。「ナビ」ボタン **メニュー** **サブメニュー** **情報を見る** **接続状態** と操作してください。

モニタースピーカーAV音声出力

オーディオの音声をモニタースピーカーから出力するかどうかを設定します。

ON モニタースピーカーから出力します。

OFF モニタースピーカーからは出力しません。

 **OFF** に設定しても、ナビゲーションのガイド音声と操作音は出力されます。

モニター自動開閉(AVIC-DRV150)

モニターの自動開閉を行なうかどうかを設定します。

ON 自動開閉を行ないます。

OFF 自動開閉は行ないません。

インダッシュモニター前後位置(AVIC-DRV150)

モニターを開いたときに、すこし後方へずらす(セットバック)かどうかを設定します。

後 セットバックします。

前 セットバックしません。

DVDビデオ機能設定(AVIC-DRV150/AVIC-DRV120)

DVDビデオの操作や表示に関する設定を行ないます。詳しくはP82を参照してください。

 この設定を行なうには、DVDビデオソースのときに **AV機能設定** を選びます。

ダイナミックレンジコントロール(AVIC-DRV150/AVIC-DRV120)

DVDビデオディスク再生時、小音量と大音量の音の幅を一定の幅にコントロール(ダイナミックレンジコントロール)し、小さな音でも聞きやすくする機能です。

ON ダイナミックレンジコントロールをONにします。

OFF ダイナミックレンジコントロールをOFFにします。

 この設定を行なうには、DVDビデオソースのときに **AV機能設定** を選びます。

TVモニターの設定

画質の調整をする

映像系（ナビゲーション、テレビ、VTR/バックカメラ）およびAVソース画面（CD、MP3、DVDビデオ、その他の画面）の画質を調整することができます。走行中、操作できない機能もあります。

黒の濃さ・コントラスト・明るさ・色の濃さ・色あいを調整する

お好みに合わせて画質を調整することができます。

• 画質の調整は、テレビ、VTR/バックカメラ、DVDビデオ、ナビゲーション/CD/MP3の映像で、それぞれ別に調整・記憶できます。また、「黒の濃さ」「コントラスト」は、さらに周囲が明るいとき/暗いときで「明るさ」は明るいとき/中間のとき/暗いときで、それぞれ別に調整・記憶できます（3点式インテリジェントディマー）。

- ナビゲーション画面やCD/MP3を再生中の画面では、「黒の濃さ」「コントラスト」「明るさ」のみ調整できます。

「黒の濃さ」「コントラスト」「明るさ」の周囲が明るいとき/暗いときでの調整は、外光センサーが周囲の明るさを感知し、明るいときは「太陽マーク」（「明るさ」は明るいときは黄色、中間のときはオレンジ）、暗いときは「月マーク」で表示します。

- 1 調整したい映像の表示画面で、**W**「画質」ボタンを2秒以上押す
画質調整画面が表示されます。



- 2 左右のタッチキーにタッチするか、ジョイスティックを左右に倒して調整する

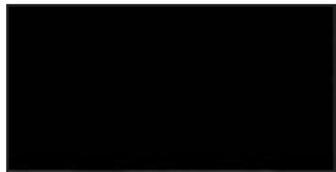
	左	右
黒の濃さ	☐：薄くなる	☐：濃くなる
コントラスト	☐：白黒の差が小さくなる	☐：白黒の差が大きくなる
色の濃さ	☐：淡くなる	☐：濃くなる
色あい	☐：赤が強くなる	☐：緑が強くなる
明るさ	☐：暗くなる	☐：明るくなる

- 3 **終了** にタッチして、終了する

画面を消す

音声を消さずに、画面だけを消すことができます。

- 1 調整したい映像の表示画面で、**BL**「バックライト」ボタンを2秒以上押す
画面が消えます。
画面をタッチするか、もう一度**BL**「バックライト」ボタンを押すと、画面を表示します。



画面が消えている状態（バックライトがOFF）のときに、エンジンをOFFにして、再度ONにした場合は、バックライトはONになります（AVIC-DRV120/AVIC-DR100は、OFFになります）。

TVモニターの設定



- 画面を消しているときは、音声認識での操作はできません。
- エンジンスイッチをON/OFFすると、再び画面が表示されます。

ワイド画面の拡大方法を切り替える

テレビ、VTRおよびDVDビデオの映像は、通常の映像をワイド映像に拡大する方法を選択することができます。



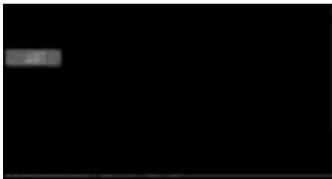
- 通常映像は縦横比4：3、ワイド映像は縦横比16：9です。
- テレビ、VTR、DVDビデオで設定内容が別々に記憶されます。
- ナビゲーション画面は、ワイドモードの切り替えはできません。

1

TVモニターやリモコンの「AV」ボタンを押して、テレビ、VTRまたはDVDビデオのいずれかの映像画面を表示させる

2

TVモニターの「W」画面」ボタンを押す

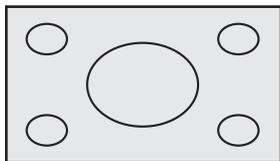


押すたびにフル(FULL)、ジャスト(JUST)、シネマ(CINEMA)、ズーム(ZOOM)、ノーマル(NORMAL)の順番で、ワイドモードが切り替わります。



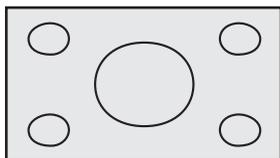
- 通常のテレビ放送の番組でズーム、ノーマル以外の、映像の縦横比が異なるモードを選ぶと、本来の映像と見えかたに差がでます。
- シネマ、ズームで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り替え機能を利用すると(フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと)、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- ワイド設定は映像ソース(TV、VTR、DVDビデオ)でのみ可能です。
- 走行中は設定できません。

ワイドモードの種類



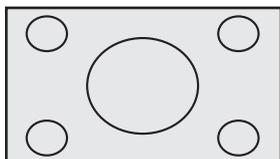
フル (FULL)

4 : 3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



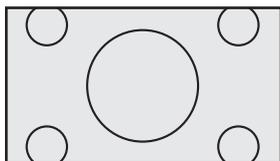
ジャスト (JUST)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



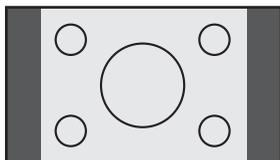
シネマ (CINEMA)

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



ズーム (ZOOM)

4 : 3の映像を上下、左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。



ノーマル (NORMAL)

4 : 3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。

モニターの自動開閉の設定を行う (AVIC-DRV150)

モニターの立ち上げ・収納を自動で行なうとモニターがシフトレバーに当たってしまうときなどは、自動開閉の設定をOFFにすることができます。

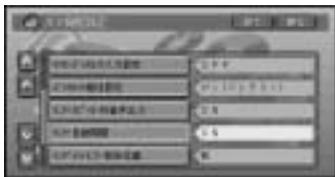
1 TVモニターやリモコンの「AV」ボタンを押す

2 **AV機能設定** を選ぶ



ヒント **AV機能設定** が表示されていない場合は、画面にタッチするか「決定」ボタンを押して、メニューを表示させてください。

3 **モニター自動開閉** を選ぶ



4 **ON** または **OFF** を選ぶ



ヒント **OFF** を選ぶと、自動開閉しなくなります。

5 **終了** にタッチして、終了する

モニターを自動で後ろに下げる (AVIC-DRV150)

モニターのセットバック機能は、モニターを立ち上げた後に、自動的にモニターを後ろに下げる機能です。

1 TVモニターやリモコンの「AV」ボタンを押す

2 **AV機能設定** を選ぶ



ヒント **AV機能設定** が表示されていない場合は、画面にタッチするか「決定」ボタンを押して、メニューを表示させてください。

3 **インダッシュモニター前後位置** を選ぶ



4 **後** または **前** を選ぶ



ヒント **前** を選ぶと、セットバックしなくなります。

5 **終了** にタッチして、終了する

その他の機能と付録

バックカメラに切り替える

市販のバックカメラなどを接続して、車の後方の映像を画面に表示させることができます。シフトレバーをリバースの位置にすると後方画面に切り替わります。駐車場で後退するときなどに便利です。

ポイント バックカメラの映像を表示させるには、AV機能設定の **VTR・バックカメラ入力設定** (P 89)で、**バックカメラ** に設定し、さらに **バックカメラ極性設定** (P 91)で車両に合わせてバック信号の極性を設定する必要があります。

1 バックギアを入れる

現在、表示中の映像がバックカメラの映像に切り替わります。



シフトレバーを他のギアに切り替えると、映像は元の映像に切り替わります。

- ポイント**
- 写真はイメージです。
 - バックカメラ表示中に「ナビ」ボタンを押すと、バックカメラ映像は解除します。
 - バックカメラの使いかたは、バックカメラの説明書をご覧ください。
 - バックカメラを正常に動作させるため、必ずバック信号を接続してください。バック信号の接続は、お使いのナビゲーション本体の『取付説明書』をご覧ください。

リアモニターに表示される映像について

- リアモニターには、現在の映像ソースの画面 (テレビ、VTR、DVDビデオ) またはバックカメラの映像が表示されます。また、**AV機能設定** の **ナビ画面リアモニター出力** の設定を **ON** にしている場合で、CD/MP3ソースのときは、AVソース画面またはナビゲーション画面が (フロントモニターの映像に連動) それ以外のソースのときはAVソースがOFFのときにナビゲーション画面が表示されます。
 - リアモニターは、走行中 / 停車中に関係なく映像が表示されます。このため、走行中でもテレビやVTRの映像を見ることができます。
- 注意** リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。
- ポイント**
- リアモニター出力はコンポジット信号のため、リアモニターに表示されるナビゲーション及びAVソースの映像は、本体に表示される映像と比べて劣化します。また、その程度は接続されるモニターによって異なります。
 - パイオニア製以外のモニターを接続した場合は、画像が乱れる場合があります。

TVモニターの正しい使いかた

取り扱い上のご注意（共通）

TVモニターに直射日光が当たる状態で長時間放置しておく、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。

本機を使用していないときは、TVモニターに直射日光が当たらないようにしてください。

TVモニターは次の温度範囲内でお使いください。

使用温度範囲： - 10度 ~ + 50度

保存温度範囲： - 20度 ~ + 80度

TVモニターの液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。

キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。

エアバックなど安全装置装着車の場合、安全装置の作動に支障のないようにご注意ください。

取り扱い上のご注意 (AVIC-DRV150)

本機を使用していないときは、TVモニターを収納してください。

モニターを立ち上げたときに、モニターの上に物を置いたり、モニターの角度調節や立ち上げ・収納を手動で行ったりしないでください。モニターに強い力が加わると故障することがあります。

モニターを立ち上げたときに、モニターがエアコンの吹き出し口の近くに来る場合は、エアコンの風がモニターに当たらないようにしてください。ヒーターの熱で液晶が壊れたり、クーラーの冷気でモニター内部に水滴がついて故障する恐れがあります。

モニターの立ち上げや収納のときに、物をはさまないように注意してください。物がはさまると、モニターが動かなくなることがあります。モニターが動かなくなった場合は、はさまった物を取り除いて▲「オープン/クローズ」ボタンを押してください。

液晶画面について

TVモニターの液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が出ることがあります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。

寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。

TVモニターの液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し映像が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

小型蛍光管について

液晶画面を光らせるために、TVモニター内部に小型蛍光管を使用しています。

蛍光管は約1万時間お使いになると寿命になります。（寒いところでお使いになると、寿命が短くなることがあります。）蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店またはお近くのバイオニアサービスステーションにご連絡ください。

お手入れについて

画面に付いたホコリやTVモニターの汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかい布でから拭きしてください。画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。

ぬれたぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

再生できるディスクの種類 (AVIC-DRV150/AVIC-DRV120)

下表のマークはディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。本機はNTSC (日本のテレビ方式) に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ/再生面	最大再生時間
DVDビデオ  	DVDビデオ	(MPEG 2方式)
	12cm/片面 1層	133分
	12cm/片面 2層	242分
	12cm/両面 1層	266分
	12cm/両面 2層	484分
	DVDビデオ	(MPEG 2方式)
8cm/片面 1層	41分	
8cm/片面 2層	75分	
8cm/両面 1層	82分	
8cm/両面 2層	150分	
CD 	CD	74分
	12cm/片面	
	CDシングル	20分
	8cm/片面	



- DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合があります。
- また、一部のDVDビデオディスクにおいて、再生できない場合があります。
- DVD-R/RWディスクは、ビデオフォーマット(ビデオモード)で記録されたものに限り、再生することができます。ビデオレコーディングフォーマット(VRモード)で記録されたDVD-RWディスクは再生できません。
- CD-TEXTは、再生することはできますが、タイトルなどの文字情報は表示できません。
- CD-Extraは、音楽CDとして再生することができます。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。
- CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



DTS は米国Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。

本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

- DVDオーディオやDVD-R、DVD-ROMなどは再生できません。本機で再生できるのは、P98に記載されているマークの付いたディスクのみです。
- DVDビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生が始まるまで時間がかかります。
- ビデオフォーマット(ビデオモード)で記録したDVD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機では再生できない場合があります。
- ファイナライズしていないCD-R/RW、DVD-R/RWディスクは再生できません。
- PC(パソコン)で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。(詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。)
- 音楽用CDレコーダーで録音したものの以外のCD-R/RWディスクは、正常に再生できない場合があります。
- 音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/RWディスクは再生できなくなる場合があります。
- DDCD (Double Density CD) 形式で録音されたCD-R/RWディスクは再生できません。
- MP3ファイルを記録したCD-ROMには「モード1」、「モード2 Form1」に対応しています。

DVDに表示されているマークの意味

DVDディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表わしています。

マーク	意味
	音声の数を表わします。
	字幕の数を表わします。
	アングルの数を表わします。
	画面サイズ(アスペクト比:横と縦の比率)の種類を表わします。
	再生可能な地域番号(リージョン番号)を表わします。本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生することができます。

ディスクの操作について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上リピートなど一部の操作ができませんことがあります。

このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。

ディスクの構成について

DVDビデオ

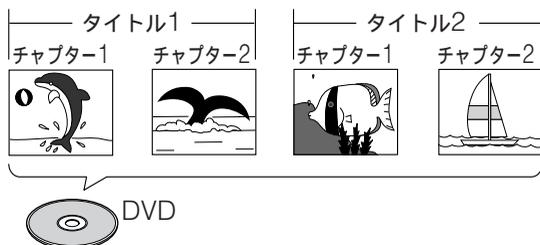
DVDビデオでは内容をタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。

映画など：

1つの作品が1つのタイトルとなっており、場面ごとにチャプターで分けられています。

カラオケディスク：

1曲が1タイトルとなっています。

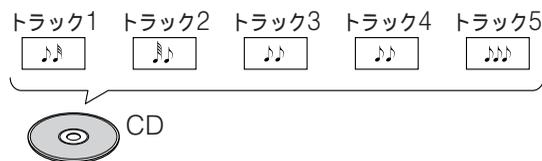


 上記のような構成(区切りのしかた)になっていないディスクもありますので、サーチ機能を使用する際は、構成の違いにご注意ください。

CD

CDは、ディスクをトラックという単位で分けています。

一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。



MP3ファイルについて

MP3とは？

MPEG Audio Layer 3 の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できるMP3ファイルについて

- 本機はMP3ファイルのCD-ROM (CD-ROMモードはモード1、モード2 Form1に対応)、またはCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。ディスクは、ISO9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeo (P105) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。



- MP3ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.mp3) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.mp3) が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子 (.mp3) を付けしないでください。

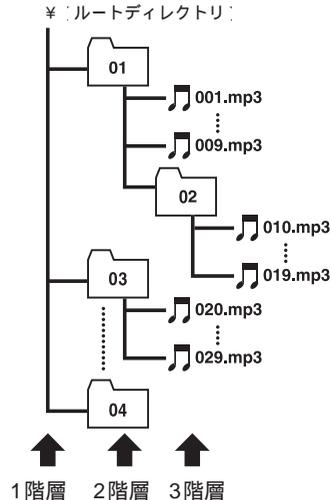
- マルチセッション (P105) 対応で記録したディスクを再生することができます。
- ID3 TagのVer1.0およびVer.1.1 (ディスクタイトルとして表示)、track (トラックタイトルとして表示)、artist (アーティストとして表示)、ジャンル、発売年の表示に対応しています。ファイル名、フォルダ名は拡張子まで含めて最大32バイトまで読み込みます。
- 再生可能なサンプリング周波数は、MPEG-1 LAYER-3の場合、32kHz、44.1kHz、48kHz。MPEG-2 LAYER-3の場合、16kHz、22.05kHz、24kHzで、エンファシスに対応しています。
- 一般的にMP3ファイルは、ビットレートが高くなるほど音質は良くなります。本機は、MPEG-1 LAYER-3の場合、32、40、48、56、64、80、96、112、128、160、192、224、256、320kbps。MPEG-2 LAYER-3の場合、8、16、24、32、40、48、56、64、80、96、112、128、144、160kbpsまでのMP3

ファイルの再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128kbpsのビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

- パケットライト (P105) には対応していません。
- m3u (P105) のプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive)、mp3 PRO フォーマットには対応していません。
- VBR(可変ビットレート)に対応しています。

フォルダとMP3ファイルについて

MP3ファイルを収録したCD-ROMのイメージは下図のようになります。



- Mixed Mode CDのデータトラックはスキップします。また、MP3ファイルを含まないフォルダもスキップします。
- 8階層(ルートディレクトリを含む)までのMP3ファイルの再生に対応していますが、多くのフォルダを持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。
- ディスクに含まれるフォルダの合計は253個まで、ファイルの最大数は1フォルダあたり65535ファイルです。MP3ファイルは9999個まで再生できます。

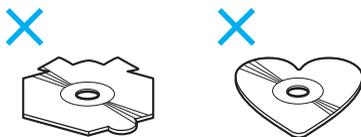
ディスクの取り扱いかた

取り扱い上のご注意

ひび、キズ、そりのあるディスクは使用しないでください。



特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



ディスクは、記録面(虹色に光っている面)をさわらないように持ってください。

ディスクにキズを付けないでください。
ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。

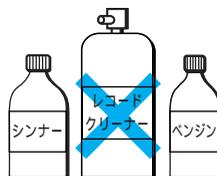


お手入れについて

ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、ディスクの内側から外側へ軽く拭いてください。



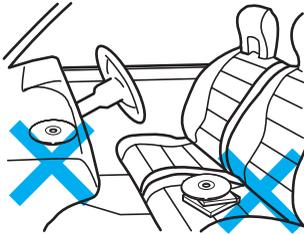
ディスクに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、ディスクには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。



 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

保管上のご注意

ディスクは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

ディスク再生の環境について

走行中、振動のショックでディスクのデータを正確に読み取れないことがあります。（画面の表示切り替えが遅くなってしまうことがあります。）

寒いとき、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクにつゆが付いて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然につゆがとれるのをお待ちください。ディスクに付いたつゆは柔らかい布でふいてください。

高温になると、保護機能が働き、一部の動作が停止します。

言語コード表

言語名(言語コード)	入力コード
日本語(ja)	1001
英語(en)	0514
フランス語(fr)	0618
スペイン語(es)	0519
ドイツ語(de)	0405
イタリア語(it)	0920
中国語(zh)	2608
オランダ語(nl)	1412
ポルトガル語(pt)	1620
スウェーデン語(sv)	1922
ロシア語(ru)	1821
韓国語(ko)	1115
ギリシャ語(el)	0512
アファル語(aa)	0101
アブバジア語(ab)	0102
アフリカーンス語(af)	0106
アムハラ語(am)	0113
アラビア語(ar)	0118
アッサム語(as)	0119
アイマラ語(ay)	0125
アゼルバイジャン語(az)	0126
バシキール語(ba)	0201
ベラルーシ語(be)	0205
ブルガリア語(bg)	0207
ビハラー語(bh)	0208
ビスラマ語(bi)	0209
ベンガル語(bn)	0214
チベット語(bo)	0215
ブルトン語(br)	0218
カタロニア語(ca)	0301
コルシカ語(co)	0315
チェコ語(cs)	0319
ウェールズ語(cy)	0325
デンマーク語(da)	0401
ブータン語(dz)	0426
エスペラント語(eo)	0515
エストニア語(et)	0520
バスク語(eu)	0521
ペルシア語(fa)	0601
フィンランド語(fi)	0609
フィジー語(fj)	0610
フェロー語(fo)	0615
フリジア語(fy)	0625
アイルランド語(ga)	0701
スコットランドゲール語(gd)	0704
ガルシア語(gl)	0712
ゲアラニ語(gn)	0714

言語名(言語コード)	入力コード
グジャラート語(gu)	0721
ハウサ語(ha)	0801
ヒンディー語(hi)	0809
クロアチア語(hr)	0818
ハンガリー語(hu)	0821
アルメニア語(hy)	0825
国際語(ia)	0901
interlingue(ie)	0905
イヌピアック語(ik)	0911
インドネシア語(in)	0914
アイスランド語(is)	0919
ヘブライ語(iw)	0923
イディッシュ語(ji)	1009
ジャワ語(jw)	1023
グルジア語(ka)	1101
カザフ語(kk)	1111
グリーンランド語(kl)	1112
カンボジア語(km)	1113
カンナダ語(kn)	1114
カシミール語(ks)	1119
クルド語(ku)	1121
キルギス語(ky)	1125
ラテン語(la)	1201
リンガラ語(ln)	1214
ラオス語(lo)	1215
リトアニア語(lt)	1220
ラトビア語(lv)	1222
マダガスカル語(mg)	1307
マオリ語(mi)	1309
マケドニア語(mk)	1311
マラヤーラム語(ml)	1312
モンゴル語(mn)	1314
モルダビア語(mo)	1315
マラータ語(mr)	1318
マライ語(ms)	1319
マルタ語(mt)	1320
ビルマ語(my)	1325
ナウル語(na)	1401
ネパール語(ne)	1405
ノルウェー語(no)	1415
プロバンス語(oc)	1503
オロモ語(om)	1513
オリヤー語(or)	1518
パンジャブ語(pa)	1601
ポーランド語(pl)	1612
アフガニスタン語(ps)	1619
ケチュア語(qu)	1721

言語名(言語コード)	入力コード
レートロマン語(rm)	1813
キルンディ語(rn)	1814
ローマ語(ro)	1815
キニヤルワンダ語(rw)	1823
サンスクリット語(sa)	1901
シンド語(sd)	1904
サンド語(sg)	1907
サルボアクロアチア語(sh)	1908
セイロン語(si)	1909
スロバック語(sk)	1911
スロベニア語(sl)	1912
サモア語(sm)	1913
ショナ語(sn)	1914
ソマリ語(so)	1915
アルバニア語(sq)	1917
セルビア語(sr)	1918
シスワティ語(ss)	1919
セストゥ語(st)	1920
スンダ語(su)	1921
スワヒリ語(sw)	1923
タミル語(ta)	2001
テルグ語(te)	2005
タジル語(tg)	2007
タイ語(th)	2008
チグリス語(ti)	2009
ツルキ語(tk)	2011
タガログ語(tl)	2012
セツワナ語(tn)	2014
トンガ語(to)	2015
トルコ語(tr)	2018
ツォンガ語(ts)	2019
タタル語(tt)	2020
トウィ語(tw)	2023
ウクライナ語(uk)	2111
ウルドゥー語(ur)	2118
ウズベク語(uz)	2126
ベトナム語(vi)	2209
ボラビュク語(vo)	2215
ウォルフ語(wo)	2315
コーサ語(xh)	2408
ユルバ語(yo)	2515
ズールー語(zu)	2621

用語の解説

CD/MP3ディスク

バケットライト

フロッピーやハードディスクと同じように、必要なファイルを必要な時点で、CD-Rなどに書き込む方式の総称です。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps (bit per second) です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式 (ATRAC3など) での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音となります。(MP3とATRAC3のように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる記録方式です。CD-ROMやCD-R、CD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

ID3 Tag

曲の関連情報をMP3ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報は、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容はID3 Tag編集機能のあるソフトを利用して自由に編集ができます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

ISO9660フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダに関する論理フォーマットの国際基準です。ISO9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル1：

ファイル名は、8.3形式(半角英大文字と半角数字、“_”で名前は8文字以下、拡張子は3文字以下)で、各フォルダの階層は8つ以下

レベル2：

ファイル名は、最大31文字(区切り文字、“.”と拡張子を含む)で、各フォルダの階層は8つ以下

拡張フォーマット

Joliet：ファイル名は、最大で64文字

Romeo：ファイル名は、最大で128文字

m3u

プレイリストファイルの拡張子(.m3u)で、「WINAMP」というソフトで作成したプレイリストに付きます。

MP3 (エムピースリー)

「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO(国際標準化機構)のワーキンググループ(MPEG)の定めた音声圧縮の規格です。MP3は、音声データを元のデータの約1/10のサイズに圧縮することができます。

VBR (バイビートル)

「Variable Bit Rate(可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR(固定ビットレート)が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

DVDビデオ

テレビアスペクト

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。ノーマルモニター4:3、ワイドモニター16:9の比率です。

視聴制限(パレンタルロック)

暴力シーンなどを含むDVDには、視聴制限が記録されているものがあります。このようなディスクに、視聴制限レベルを設定して、再生できなくなったり、過激なシーンを飛ばして再生することができます。

タイトル

DVDは大容量なので、1枚のディスクに複数の映画を記憶することもできます。たとえば、1枚のディスクに異なる3つの映画が記憶されている場合は、タイトル1、タイトル2、タイトル3に分けられており、タイトルサーチなどの操作をすることができます。

チャプター

DVDのタイトル内をいくつかのセクションに区切り、番号付けしたものです。チャプターが記憶されているディスクでは、チャプターサーチなどの操作をすることができます。

マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ているので、画像は撮影しているカメラの位置の視点になります。DVDには、同時に複数台のカメラで撮影した映像をすべて収録しているものがあり、見る側で自由に選ぶことができます。

マルチ音声

DVDには、1枚のディスクの中に複数の音声を収録しているものがあります(最大8言語)。その中からお好みの言語を選ぶことができます。

マルチ字幕(サブタイトル)

映画などでおなじみの字幕です。DVDでは、字幕の言語を最大32カ国語まで記憶することができます。その中からお好みの言語を選ぶことができます。

リージョン番号

DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号(リージョン番号)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は、再生できません。本機のリージョン番号は、「2」です。

ドルビーデジタル

ドルビーデジタルは最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして装備されているドルビーデジタルと同一のシステムです。



ドルビーデジタルを楽しむには、本機の光デジタル出力端子とドルビーデジタル対応アンプの光デジタル入力端子を接続する必要があります。

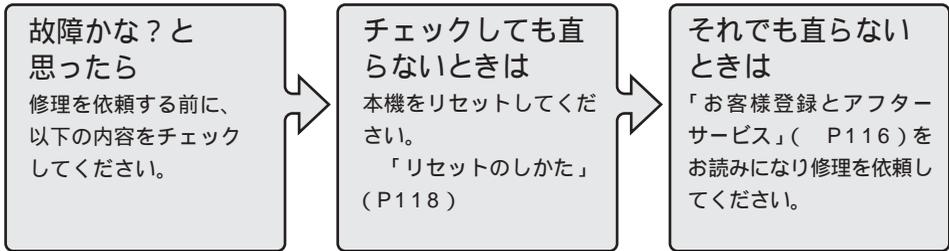
DTS

Digital Theater Systems の略です。DTSは、サラウンドシステムで、最大6チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。



DTS音声付きディスクを楽しむには、本機の光デジタル出力端子とDTS対応アンプやデコーダーなどの光デジタル入力端子を接続する必要があります。

故障かな？と思ったら



ナビゲーション

ナビゲーションの内容につきましては、『ナビゲーションブック』の「困ったときは」をご覧ください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線や各コネクタ ーが正しく接続されてい ない。	正しく確実に接続されているかどうか、 もう一度確認してください。 『取付説明書』
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れた ヒューズを同じ容量のヒューズと交換し てください。 『取付説明書』
	ノイズなどが原因で内蔵の マイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。 「リセットのしかた」(P116)
リモコンで操作できない。 操作に合った正しい動作を しない。	電池の(+)と(-)の向きを 逆に入れている。	正しく入れてください。「リモコンに 電池をセットする」(P14)
	リモコンを、足元やシート に向けて操作している。	リモコン受光部に向けて操作してくださ い。「各部の名前とおもな働きを知る」 (P18、P20)
	リモコン受光部に直射日光 が当たっている。	リモコン受光部に近づけて操作してくだ さい。
	電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。 「リモコンに電池をセットする」(P14)

共通項目（つづき）

症 状	原 因	処 置
再生できない。	ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください。 「ディスクの取り扱いかた（P102）」
	本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。 「再生できるディスクの種類（P98）」
エンジンスイッチをONまたはACCにすると、モーター音がする。	本機がディスクの有無を確認している。	正常な動作です。
映像の色が薄い。 または濃い。	色の濃さまたは色あいの調整が適切でない。	色の濃さまたは色あいを調整してください。「画質の調整をする（P91）」
映像の色あいがおかしい。		
映像が明るい。 映像が暗い。	コントラストの調整が適切でない。	コントラストを調整してください。 「画質の調整をする（P91）」
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	
映像がキザキザに表示される。	ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。	
液晶画面が暗い。	明るさの調整が適切でない。	明るさを調整してください。 「画質の調整をする（P91）」
	車内の温度が低い。	液晶モニターは、周囲の温度が低いと画面が暗くなることがありますので、ヒーターで車内の温度を上げてください。
音が出ない。	音量が0になっている。	音量を上げてください。
	接続が間違っている。	接続を確認してください。
映像が表示されない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 『取付説明書』
	パーキングブレーキをかけていない。	
音が小さい。	音量を下げています。	音量を上げてください。
ナビゲーションの映像が映らない。	映像が、ナビゲーションに切り替わっていない。	映像をナビゲーションに切り替えてください。 「AVソースをONにする/OFFにする」（P62）」

テレビ

症 状	原 因	処 置
テレビの映りが悪い。 “ジージー、ザーザー” という雑音が多い。	チャンネルが合っていない。	チャンネルを正しく合わせてください。 「基本的なテレビの見かた」(P64)
	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。 「基本的なテレビの見かた」(P64)
	周りに障害物があるなど、 受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りがよくなり、 雑音も少なくなります。
	アンテナ線と他のケーブル を束ねたり、重ねたり している。	重ねないように線処理をしてください。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 「基本的なテレビの見かた」(P64)

バックカメラ

症 状	原 因	処 置
バックカメラに切り替 わらない。	バック信号が接続されて いない。	正しく確実に接続されているか確認してくだ さい。
	「VTR・バックカメラ入 力設定」が「バックカメ ラ」に設定されていない。	設定してください。
	「バックカメラ極性設定」が 正しく設定されていない。	設定してください。

DVDビデオ (AVIC-DRV150/AVIC-DRV120)

症 状	原 因	処 置
再生できない。	PAL方式のディスクを挿入している。	NTSC方式のディスクに交換してください。
	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。
映像が映らない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーションの画面になっている。	「AV」ボタンで画面を切り替えてください。
音が出ない。	静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除またはレベルの変更をしてください。 「レベルを変更する (P88)」
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。 「レベルを変更する (P88)」
	暗証番号を忘れてしまった。	訂正 に10回タッチし、暗証番号を解除します。 「暗証番号を忘れたときは (P88)」
音声言語、字幕言語が切り替えられない。	複数の言語が収録されていないDVDを再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り替えられません。
	ディスクのメニューでしか切り替えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り替えてください。
機能設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	機能設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	機能設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り替わりません。
アングルを切り替えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り替えられません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。

DVDビデオ (AVIC-DRV150/AVIC-DRV120) (つづき)

症 状	原 因	処 置
ディスク再生中に映像が乱れるまたは暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものがあります。(故障ではありません。)
ⓧ 禁止マークが画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。 ディスクの構造上対応できない操作をしている。	この操作はできません。
画面が止まり、操作を受け付けない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	ディスクを取り出してから、もう一度再生してください。

CD/MP3ディスク (AVIC-DRV150/AVIC-DRV120)

症 状	原 因	処 置
CD再生中に、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。	CDにキズやそりがある。	他のCDと交換してください。それ良くなれば、CDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れを拭き取ってください。 「ディスクの取り扱いかた」(P102)
	CDにくもりや水滴がついている。	CDの曇りや水滴を拭き取ってください。
	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。

CD/MP3ディスク (AVIC-DRV150/AVIC-DRV120) つづき

症 状	原 因	処 置
CD-RやCD-RW、CD-ROMを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
MP3ファイルを再生できない。	MP3ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」を付けたディスクに交換してください。
	ISO9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeoに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeoに準拠して記録したディスクに交換してください。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレート (MPEG-1 LAYER-3の場合、32、40、48、56、64、80、96、112、128、160、192、224、256、320kbps。MPEG-2 LAYER-3の場合、8、16、24、32、40、48、56、64、80、96、112、128、144、160kbps。) で記録してください。
	CD-ROMモードがモード1またはモード2Form1で記録されていない。	モード1またはモード2Form1で記録してください。
MP3ファイル再生中に大きな雑音が出る。 MP3ファイル再生中に音が出なくなる。	MP3形式でないファイルに「.mp3」の拡張子を付けている。	ディスクを交換してください。(MP3形式でないファイルに「.mp3」拡張子を付けたCD-ROMを再生しないでください。)
聴きたいMP3ファイルが見つからない。	MP3ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」を付けたディスクに交換してください。
フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeoに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeoに準拠して記録したディスクに交換してください。
MP3ファイル再生が、記録した順と異なる。	MP3ファイルは、記録したときの順番通りに再生されない場合があります。	ライティングソフトによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字 (01、02など) を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

エラーメッセージ

初期学習が正しくできなかった場合や本体やハイダウェイユニットに何らかの異常が発生した場合は、画面に次のようなメッセージが表示されます。



このようなメッセージが表示されたときは、以下の内容を参照して対処してください。

[車速パルスが接続されていません。簡易ハイブリッドで動作します。]

『取付説明書』を参照して、ピンクリード線(車速信号入力)を接続してください。正しく接続すると、3Dハイブリッドで初期学習をやり直します。

[振動を検知しました。本体の取付け状態を変更してください。]

[振動を検知しました。ハイダウェイユニットの取付け状態を変更してください。]

『取付説明書』を参照して、振動が少ない位置にしっかりと取り付けてください。

[本体の向きが間違っています。取付けを確認してください。]

[ハイダウェイユニットの向きが間違っています。取付けを確認してください。]

『取付説明書』を参照して、正しい向きに取り付けてください。

[車速パルス信号が異常です。接続を確認してください。]

『取付説明書』を参照して、ピンクリード線(車速信号入力)の接続が間違っていないか確認してください。

[ジャイロセンサーが異常です。販売店、またはサービスステーションに御相談ください。]

内蔵のジャイロセンサーの故障が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。

[ハードウェアに異常が発生し、測位不能になりました。販売店、またはサービスステーションに御相談ください。]

ハードウェアの故障、劣化等が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。

[GPSアンテナが接続されていません。接続を確認してください。]

[GPSアンテナが異常です。販売店またはサービスステーションに御相談ください。]

GPSアンテナの接続を確認してください。

正しく接続されている場合は、断線・故障・劣化等が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。

[車速信号線が外れました。接続を確認してください。]

ピンクリード線（車速信号入力）の接続を確認してください。

[ディスプレイ位置を確認しています。この表示が消えない場合は取り付けを確認してください。]

ディスプレイの開閉のさまたげになっているものがあります。本体の取り付け状態を確認してください。

[本体の取付け角度が許容範囲外です。取付け角度を確認してください。]

[ハイダウェイユニットの取付け角度が許容範囲外です。取付け角度を確認してください。]

『取付説明書』を参照して、取付け角度が間違っていないか確認してください。

取付け角度が正しい場合は、内蔵センサーの故障が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。

[取付け位置の変化を検出しました。センサーの初期学習を開始します。]

取り付け位置の変化を自動で検出したことをお知らせするメッセージです。走行を開始すると自動でセンサーの初期学習を行います。

[高温のため動作不可能です。安全な場所に移動して、エンジンを切って、しばらくしてから入れ直してください。]

安全な場所に移動してから、エンジンを切って、本機の内部温度が正常になるまでお待ちください。

[低温のため、動作不可能です。]

本機の内部温度が正常になるまでお待ちください。

[ディスクに異常があります。販売店にご相談ください。]

ディスクの異常が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。

[DVD-ROMドライブに異常があります。販売店にご相談ください。]

ディスクドライブの故障が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。

その他に、こんなメッセージが表示されたら

ディスクを正常に再生できないときは、エラーメッセージが表示されます。

DVDビデオ/CD/MP3ディスク (AVIC-DRV150/AVIC-DRV120)

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
再生できません。ディスクを取り出してください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 「ディスクの取り扱いかた」(P102)
	ディスクにキズやそりがある。	ディスクにキズがあるときは、ディスクを交換してください。
	ディスクの裏表を逆にしてセットしている。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。
	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。「再生できるディスクの種類」(P98)
DIFFERENT REGION DISC	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号「2」を含むディスクに交換してください。
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。「再生できるディスクの種類」(P98)
高温のため、ディスクが再生できません。ディスクを取り出してください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまで、お待ちください。改善されない場合は、本機の設置場所に問題がないか確認してください。『取付説明書』
タイトルを取得できませんでした。再生する事で取得できます。	MP3ディスクの情報が読み込まれていない。	MP3ディスクを再生してください。

お客様登録とアフターサービス

お客様登録について

保証書発行兼お客様登録カードは、お買い上げ年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

この製品は、より確実にお客様をサポートさせていただくために「保証書発行兼お客様登録カード」のご返送もしくはインターネット登録による、お客様の登録と保証書の発行を実施させていただいております。お手数ですが必ずご登録手続きを行なってくださいますようお願いいたします。

登録方法

① 「保証書発行兼お客様登録カード」のご返送によるご登録

同梱の「保証書発行兼お客様登録カード」に住所、お名前、電話番号および裏面のアンケートに必要事項をご記入のうえ、「保証書発行兼お客様登録カード③」を弊社までご返送ください。ご記入の住所、お名前に郵送いたしますので、正確に記入してください。

② インターネットによるご登録

弊社ご登録専用ホームページにアクセスし、住所、お名前、電話番号およびアンケートに必要事項をご記入のうえ送信してください。ご記入の住所、お名前に郵送いたしますので、正確に入力してください。

なお、インターネット登録のお客様は修理の際に、郵送される保証書と「保証書発行兼お客様登録カード③」を一緒にご提示して頂きますので大切に保管願います。

ご登録専用ホームページ
<https://www.3.pioneer.co.jp/members/navi/>

保証書発行について

保証書のお届けについて
ご登録手続き完了後、保証書を郵送にてお届けいたします。
ご登録いただけない場合は、お客様の登録ができないため保証書の発行ができません。お手続きいただいてから保証書が届くまで約3週間ほどかかります。

保証書お届けまでに故障が発生した場合
保証書発行兼お客様登録カードお客様控②は、お客様登録手続き中の証明となるものですので、保証書をお届けするまでの間、大切に保管してください。

インターネット登録の場合
インターネット登録のお客様は登録後、郵送された保証書と「保証書発行兼お客様登録カード③」をあわせてご提示いただきますので大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、右ページの当社無料修理規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品の、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問・ご相談は

本機、または保証書発行兼お客様登録カードに関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

お願い

より確実にお客様をサポートさせていただくために、万一、保証書がお手元に届かない場合や、ご転居、住所の変更等、ご登録内容に変更が生じましたら、お手数ですがパイオニアカスタマーサポートセンターへご連絡くださるようお願いいたします。

カスタマーサポートセンター



0070 - 800 - 8181 - 11 (フリーフォン)

TEL 03 - 5496 - 8016 (一般電話)

なお、登録内容の変更はホームページからも行なえますのであわせてご利用くださいますようお願いいたします。

ご登録専用ホームページ

<https://www3.pioneer.co.jp/members/navi/>

修理をご依頼になるときは、故障の原因をより早く確実に解決するため、製品一式をお持ち込みください。なお、サービス対応時におきましては、お客様が保存されたデータが消えることがあります。重要な内容は紙などに控えておいてください。

無料修理規定

- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 本取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはパイオニアサービスステーションが無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には商品と保証書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店または別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」のパイオニアサービスステーションにご依頼ください。
- ご転居、ご贈答品等で保証書または保証書発行兼お客様登録カードに記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。
- 保証期間内で次の場合には有料修理になります。
 - ・ 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ・ お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
 - ・ 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛かり等による故障および損傷。
 - ・ 業務用の長時間使用、船舶への搭載等、通常以外のご使用をされた場合の故障および損傷。
 - ・ 消耗品（各部ゴム、電池等）の交換
 - ・ 未登録のお客様で保証書発行兼お客様登録カードのご提示がない場合。
 - ・ 保証書の文字を書きかえられた場合。
 - ・ 保証書発行兼お客様登録カードにお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。
 - ・ 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合。
- 保証書およびこの無料修理規定は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 保証書および保証書発行兼お客様登録カードは再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
 - * 保証書は、保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって保証書およびこの無料修理規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧のうえ、パイオニアカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
 - * 保証期間中に保証書を紛失した場合でもご登録いただいておりますと、確認に多少お時間をいただく場合がございますが、当社無料修理規定に基づき修理いたします。

お客様の個人情報について

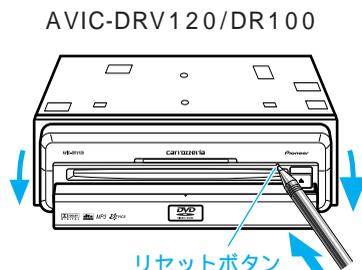
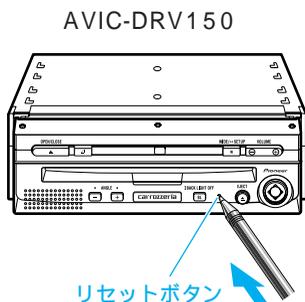
当社はお客さま個人の情報につきまして、安全対策を実施し厳重な管理を行っております。

リセットのしかた

次のようなときは、本機のリセットボタンを押してマイコンをリセットしてください。

- ・ 正しく動作しないとき
- ・ 画面が正しく表示されないとき

1 ボールペンの先などで、リセットボタンを押します。



- ・ リセットボタンを押した後やバッテリーを外した後などに、いったん電源が ON/OFF することがありますが、故障ではありません。
- ・ リセットボタンを押した場合、最初のナビゲーションの起動に時間がかかります。
- ・ AVIC-DRV150の場合、リセットボタンを押すと、モニターが一旦収納し再度立ち上がりますのでご注意ください。
- ・ AVIC-DRV150の場合、ハイダウェイユニットの30ピンケーブルを外すと、リセットボタンを押したときと同様に記憶した内容が消えますのでご注意ください。

リセットボタンを押して消える内容

- ・ TVモニターの設定 (VOL、画質調整、WIDEモードなど)
 - ・ AV機能設定で設定した内容
 - ・ テレビのオートチャンネルプリセットおよびマニュアルプリセット
 - ・ DVDビデオの機能設定
- など

消えない内容

- ・ ナビゲーションのメニューから登録した内容
(ルート、登録地、最近探した場所、学習ルート、走行軌跡、音量調整、各種設定で設定した内容など)
- ・ 3Dハイブリッドセンサーの学習
- ・ 現在時刻

索引

メニュー索引

TV	オートチャンネルプリセット	▶ P 66	VTR	AV機能設定	▶ P 89
	音声多重切替	▶ P 67		AV機能設定	FMトランスミッター
	リスト切替	▶ P 65、P 67	消音タイミング		▶ P 89
	リスト小/リスト大	▶ P 65	ナビ画面リアモニター出力 (AVIC-DRV150/DRV120)		▶ P 89
	AV機能設定	▶ P 89	VTR・バックカメラ入力設定		▶ P 89
			バックカメラ極性指定		▶ P 90
CD	リピート	▶ P 71	モニタースピーカーAV出力	▶ P 90	
	ランダム	▶ P 71	モニター自動開閉 (AVIC-DRV150)	▶ P 90、P 94	
	スキャン	▶ P 72	インダッシュモニター前後位置 (AVIC-DRV150)	▶ P 90、P 94	
	▶/II (ポーズ)	▶ P 72	DVDビデオ機能設定 (AVIC-DRV150/DRV120)	▶ P 82、P 90	
	◀◀/▶▶ (早送り/早戻し)	▶ P 70	ダイナミックレンジコントロール (AVIC-DRV150/DRV120)	▶ P 90	
	◀◀/▶▶ (曲を選ぶ)	▶ P 70			
	■ (停止)	▶ P 70			
	AV機能設定	▶ P 89			
MP3	リピート	▶ P 71	DVDビデオ機能設定	基本字幕言語	▶ P 83
	ランダム	▶ P 71		基本音声言語	▶ P 83
	スキャン	▶ P 72		メニュー言語	▶ P 84
	▶/II (ポーズ)	▶ P 72		アシスト字幕	▶ P 85
	◀◀/▶▶ (早送り/早戻し)	▶ P 70		マルチアングル	▶ P 85
	◀◀/▶▶ (曲を選ぶ)	▶ P 70		テレビアスペクト	▶ P 86
	■ (停止)	▶ P 70		視聴制限	▶ P 87
	上へ	▶ P 70			
	CD/MP3切替	▶ P 70			
	詳細情報	▶ P 72			
	AV機能設定	▶ P 89			
	DVDビデオ	トップメニュー	▶ P 75	リピート	▶ P 79
メニュー		▶ P 75	字幕	▶ P 80	
◀◀/▶▶ (早送り/早戻し)		▶ P 76	アングル	▶ P 80	
◀◀/▶▶ (チャプターを進める/戻す)		▶ P 75	音声	▶ P 79	
▶/II (ポーズ)		▶ P 77	リターン	▶ P 81	
II▶ (コマ送り再生)		▶ P 78	◀ (十字矢印キー)	▶ P 81	
II▶ (スロー再生)		▶ P 78	AV機能設定	▶ P 89	
■ (停止)		▶ P 76	前頁 ←	▶ P 74	
タイトル↑/タイトル↓		▶ P 75			
10キーサーチ(ダイレクトサーチ)		▶ P 76			
次頁 →		▶ P 74			

用語索引

五十音順

あ行

明るさ	91
暗証番号	87、88
色あい	91
イジェクト	17
色の濃さ	91
オートアンテナ	15
オートチャンネルプリセット	66
お帰り	38、56
お好み周辺検索タッチキー	23、53
お出かけ	35、43
お出かけメニュー	35、44
音声	79
音声多重切替	67
音声多重放送	67
音声認識コントローラー	15
音声認識用マイク	14

か行

決定	24
黒の濃さ	91
広域	33
コマ送り再生	78
コントラスト	91

さ行

視聴制限	87
シネマ	93
字幕	80
ジャスト	93
主音声	67
渋滞	48
周辺	50、58
縮尺表示	33
詳細情報	72
ジョイスティック	24
詳細	33
ショートカットタッチキー	23

ズーム	93
スキャン再生	72
スクロール	31
スロー再生	78
静止画	77
操作タッチキー	74

た行

タイトル	73、75
ダイレクトスケールキー	33
タッチキー	23
タブ付きリスト	37
チャプター	73、75
チャンネルリスト	64
ディスクメニュー	75
テレビ	64

な行

ノーマル	93
------	----

は行

バケットライト	105
バックカメラ	95
発話	57、58
早送り	70、76
早戻し	70、76
微調整	31
ビットレート	105
ビュー	34
ヒントポップアップ	37
フォルダ	69、70
副音声	67
フル	93
ポーズ再生	72、77
ホームエリア	38

ま行

マルチアングル	80
マルチ音声	79
マルチセッション	105
メニュー	35
メモリーナビモード	28

ら行

ランダム再生	71
リアモニター	95
リスト切替	65、67
リスト表示	37
リターン	81
リピート再生	71、79

わ行

ワイドモード	92
--------------	----

数字・アルファベット順

数字

10キーサーチ	76
10キーモード	76

A

AV機能設定	89
--------------	----

C

CD	69、100
CHAPTERサーチ	77
CINEMA	93

D

DISC-RANDOM	71
DVDビデオ	73、100

F

FULL	93
FOLDER-RANDOM	71
FOLDER-REPEAT	71
FOLDER-SCAN	72

I

ID3-Tag	105
ISO 9660フォーマット	105

J

JUST	93
------------	----

M

m3u	105
MP3	69、101、105
MP3ディスク	69、101
MP3ファイル	69、101

N

NORMAL	93
--------------	----

R

RANDOM	71
REPEAT	71

S	
	SCAN 72
T	
	TIMEサーチ 77
	TITLEサーチ 77
	TRACK-SCAN 72
V	
	VBR 105
	VTR 68、89
Z	
	ZOOM 93

キー/ボタン索引

	ビューキー	▶P34
	縮尺表示キー/ダイレクトスケールキー	▶P33
 / 	詳細キー/「詳細」ボタン	▶P33
 / 	広域キー/「広域」ボタン	▶P33
 / 	発話キー/「発話」ボタン	▶P58
	微調整キー	▶P31
	メニューキー	▶P36
 / 	お帰りキー/「お帰り」ボタン	▶P56
 / 	渋滞キー/「渋滞」ボタン	▶P48
 / 	周辺キー/「周辺」ボタン	▶P50
 / 	お好み周辺検索タッチキー	▶P53
	「お出かけ」ボタン	▶P43
 / 	戻るキー/「戻る」ボタン	▶P59
 / 	AVボタン	▶P62
 / 	「ナビ」ボタン	▶P30
	「決定」ボタン/ジョイスティック	▶P24
	「十字方向」ボタン	▶P62

仕様

共通

最大消費電流 (AVIC-DRV150): 4.0 A
(AVIC-DRV120): 3.5 A
(AVIC-DRV100): 2.5 A
使用電源: DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式: マイナスアース方式
外部映像入力レベル: 1 V_{p-p}/75
外部音声最大入力レベル: 1 V/22k
FMトランスミッター使用周波数:
76.4 ~ 78.4 MHz (0.1 MHz ステップ)
音声出力レベル (AVIC-DR100を除く):
1 V_{rms}(1 kHz、0 dB、IPオーディオOUT)
映像出力レベル (AVIC-DR100を除く):
1 V_{p-p}/75 (白100%出力/DVDビデオ再生時)

GPS 部

方式: L1, C/AコードGPS、SPSスタンダード・ポジショニング・サービス
受信方式: 8チャンネルマルチチャンネル受信方式
受信周波数: 1,575.42 MHz
感度: -130 dBm
測位更新時間: 約1回/1秒

DVDプレーヤー部

(AVIC-DRV150/-DRV120)

対応ディスク: DVD-ROM、DVD-VIDEO、
DVD-R (video mode) / RW
(video mode)、CD-ROM、
CD-DA、CD-R/RW
リージョンNo.: 2
信号フォーマット (サンプリング周波数):
(DVD値) 48/96 kHz、(CD) 値 44.1 KHz
(量子化ビット):
(DVD値) 16/20/24bit 直線、(CD値)
16bit 直線

周波数特性 (DVD値): 8 Hz ~ 44 kHz
(±1 dB)
(CD値): 20 Hz ~ 20 KHz
(+0.1 / -0.3 dB)
S/N (DVD値): 97 dB (1 kHz)
(IHF-A network)
(CD値): 96 dB (1 kHz)
(IHF-A network)
ダイナミックレンジ (DVD値):
95 dB (1 kHz) (IEC-A curve/20 kHz LPF)
(CD値):
94 dB (1 kHz) (IEC-A curve/20 kHz LPF)
高調波歪率: 0.008% (1 kHz)
チャンネル数: 2 (ステレオ)
(AVIC-DR100)
対応ディスク: DVD-ROM、CD-ROM

TVモニター部

画面サイズ: 6.5インチワイド(有効表示面積:
76 × 143.75 mm)
画素数: 336,690 画素 (234 × 1,440)
方式: TFTアクティブマトリクス方式、透過型
エッジライト: 冷陰極Lの字管
使用温度範囲: -10 ~ +50
保存温度範囲: -20 ~ +80
内蔵スピーカー: (AVIC-DRV150) 15 ×
40 mm
(AVIC-DRV120/-DR100)
36 mm

TV チューナー部

受信チャンネル: VHF1 ~ 12 ch / UHF13 ~
62 ch (音声多重対応)
選局方式: PLLシンセサイザー方式
アンテナ入力: 4chダイバシティ

GPS アンテナ

アンテナ: マイクロストリップ平面アンテナ/
右円偏波
アンテナケーブル長: 5.0 m

TV アンテナ

出力端子： 3.5 ミニプラグ × 3、JASO × 1
アンテナケーブル長：7.0 m

外形寸法

ナビゲーション本体取付け寸法：

178 (W) × 50 (H) × 165 (D) mm

ノーズ寸法：

(AVIC-DRV150)

171 (W) × 46 (H) × 23 (D) mm

(AVIC-DRV120/-DR100)

171 (W) × 46 (H) × 25 (D) mm

ハイダウェイユニット：

(AVIC-DRV150)

179 (W) × 157 (H) × 27 (D) mm

TVモニター：

(AVIC-DRV120/-DR100)

188 (W) × 114 (H) × 32 (D) mm

GPSアンテナ：34 (W) × 36 (H) × 13 (D) mm

TVアンテナ：

(AVIC-DRV150)

30 (W) × 29 (H) × 192 (D) mm

(収納時、アンテナベース含まず)

(AVIC-DRV120/-DR100)

30 (W) × 29 (H) × 191 (D) mm

(収納時、アンテナベース含まず)

リモコン：39 (W) × 140 (H) × 34 (D) mm

質量

ナビゲーション本体：

(AVIC-DRV150) 2184 g

(AVIC-DRV120) 1681 g

(AVIC-DR100) 1615 g

ハイダウェイユニット：

(AVIC-DRV150) 738 g

TVモニター：

(AVIC-DRV120/-DR100) 471 g

(コード含まず)

GPSアンテナ：104 g

TVアンテナ：

(AVIC-DRV150) 278 g

(コード含む、片側、JASOプラグ側)

(AVIC-DRV120/-DR100) 285 g

(コード含む、片側、JASOプラグ側)

リモコン：84 g (電池含む)

付属品

DVD-ROM ディスク：1

リモコン：1

単4形アルカリ乾電池 (LR03)：2

コード類：1 式

取付キット：1 式

ナビスタート&AVブック：1

ナビゲーションブック：1

取付説明書：1

安全上のご注意：1

保証書発行兼お客様登録カード：1

ご相談窓口・修理窓口のご案内：1

VICS サービス契約約款：1

-  仕様および外観は予告なく変更することがあります。またこの説明書中のイラストと実物が、一部異なることがあります。
- 本機は日本国内専用です。GPSの測位範囲が異なる外国ではご使用いただけません。
- テレビの受信状態がよいチャンネル(電波の弱いチャンネル)は、GPSの影響で、画面に斑点や色模様などのノイズが出ることがあります。

「取付説明書」の「接続・取り付け部品を確認する」に接続、取付け部品の一覧表が記載されています。



この説明書の印刷には、植物性大豆インキを使用しています。

ご購入後の製品の修理・取り扱いのご相談は、お買い求めの販売店へお問い合わせください

修理のご依頼は、取扱説明書の『故障かな?と思ったら』の項目をご確認のうえ、お買い求めの販売店へご依頼ください。取り付け・組み合わせなどのお問い合わせにつきましても、お買い求めの販売店へご相談・ご依頼ください。

下記窓口へのお問い合わせ時のご注意

市外局番「0070」で始まる☎フリーフォンおよび「0120」で始まる☎フリーダイヤルは、PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。また、一般電話は携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

携帯電話などの走行中の使用などの禁止に関する規定が、改正道路交通法（法第71条第5号の5）にて施行されています。自動車または原動機付自転車（原付）からの、携帯電話などによる発信・応答・通話は、安全な場所に止めてからご利用ください。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9:30～17:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

カーオーディオ/カーナビゲーション製品のご相談窓口 : ☎0070-800-8181-11
03-5496-8016（一般電話）

カタログのご請求窓口 : ☎0070-800-8181-33
ファックス 03-3490-5718

パイオニアホームページのご案内

商品に関する「よくあるお問い合わせ」FAQのご案内
カタログ請求とメールサービス登録のご案内

<http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index.html>
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html>

部品のご購入についてのご相談窓口

付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入に関するご相談については、部品受注センターにご相談ください。

部品受注センター（フリーダイヤル）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話 : ☎0120-5-81095
0538-43-1161（一般電話）

ファックス : ☎0120-5-81096

ご贈答品などの修理についてのご相談窓口

修理のお問い合わせは、取扱説明書の『故障かな?と思ったら』の項目をご確認のうえお問い合わせください。ご転居されたり、ご贈答品などで、お買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、下記の修理受付センターにご相談ください。

修理受付センター（沖縄県を除く全国）（フリーダイヤル）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話 : ☎0120-5-81028
03-5496-2023（一般電話）

ファックス : ☎0120-5-81029

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話 : 098-879-1910（一般電話）

ファックス : 098-879-1352

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2003

< KAMNF/03A00000 > < CRA3483-A >